ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

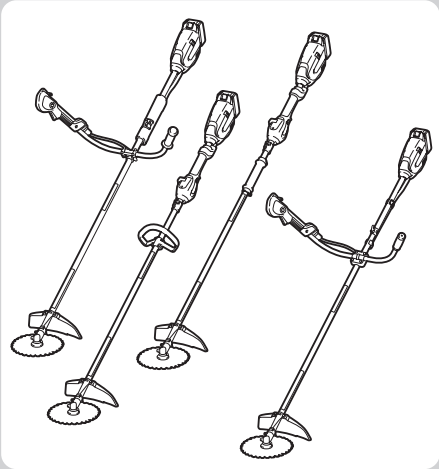
充電式草刈機

モデル MUR196UD

モデル MUR196LD

モデル MUR196WD

モデル MUR196SD



このたびは**充電式草刈機**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

もくじ

はじめに

主要機能 …… 2
安全上のご注意 …… 5
各部名称 …… 26
標準付属品の確認 …… 32
別販売品のご紹介 …… 34
その他 …… 37

ご使用前の準備

組み立て …… 38
バッテリの充電 …… 45
バッテリ／充電器の取り扱い …… 52
使用前に知っておいていただきたいこと …… 60

使い方

刈刃（チップソー／ナイロンコードカッタ／樹脂刃）の取り付け／取りはずし方法 …… 62
六角棒スパナ 4 の収納 …… 72
バッテリの取り付け／取りはずし方法 …… 73
本製品の操作 …… 74
・肩掛けバンドの取り付け方／取りはずし方（MUR196UD ／ MUR196LD ／ MUR196WD） …… 74
・肩掛けバンドの取り付け方／取りはずし方（MUR196SD） …… 77
・本製品の持ち方 …… 79
・バランス調整方法 …… 80
・ハンガー位置の調整 …… 80
・スイッチの操作 …… 82
・回転数の調整 …… 83
・刈払作業 …… 84
使用後の取り扱い …… 88
・本製品のお手入れ …… 88
・本製品の保管 …… 89

保守／点検

保守 …… 90
故障かな？と思ったら …… 91
充電式草刈機 保証書 …… 裏表紙

主要機能

主要機能＼モデル	MUR196UD	MUR196LD
電動機	直流マグネットモータ	
使用可能バッテリ	リチウムイオンバッテリ	
	「別販売品のご紹介」を参照ください	
電圧	直流 18 V	
回転数	2,500 ～ 6,000 min^{-1}（回転／分）	
刈刃径	230 mm	
本製品寸法（長さ×幅×高さ）	1,832 mm × 656 mm × 467 mm ※ 1	1,832 mm × 280 mm × 201 mm ※ 1
質量	3.7 kg ※ 2	3.3 kg ※ 2

主要機能＼モデル	MUR196WD	MUR196SD
電動機	直流マグネットモータ	
使用可能バッテリ	リチウムイオンバッテリ	
	「別販売品のご紹介」を参照ください	
電圧	直流 18 V	
回転数	2,500 ～ 6,000 min^{-1}（回転／分）	
刈刃径	230 mm	
本製品寸法（長さ×幅×高さ）	1,832 mm × 280 mm × 186 mm ※ 1	1,832 mm × 653 mm × 462 mm ※ 3
質量	3.2 kg ※ 2	3.5 kg ※ 4

※ 1：バッテリ BL1860B、刈刃、プロテクタ含む。
※ 2：バッテリ BL1860B を含む。刈刃、プロテクタ、肩掛けバンドは含まない。
※ 3：バッテリ BL1830B、刈刃、プロテクタ含む。
※ 4：バッテリ BL1830B を含む。刈刃、プロテクタ、肩掛けバンドは含まない。

急速充電器		DC18RF
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50/60 Hz
入力容量		330 W
バッテリ充電端子	出力電圧	直流 14.4-18 V
	出力電流	直流 12 A
USB電源端子	出力電圧	直流 5.0 V
	出力電流	直流 2.1 A
	端子形状	USB A 型

充電器		DC18WC
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50-60 Hz
入力容量		54 W
バッテリ充電端子	出力電圧	直流 14.4-18 V
	出力電流	直流 2.1 A

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

1 回の充電での連続運転時間

・ 数値は参考値です。
・ 数値は気温や作業条件により異なります。

■ MUR196UD/MUR196LD/MUR196WD

使用バッテリ	速度	連続運転時間※ 1
BL1860B（容量 6.0 Ah）	最低	約 146 分
	最高	約 48 分

※ 1：無負荷時、DC ホワイトチップソー装着時

■ MUR196SD

使用バッテリ	速度	連続運転時間※ 2
BL1830B（容量 3.0 Ah）	最低	約 69 分
	最高	約 22 分

※ 2：無負荷時、DC 軽快チップソー装着時

JPA002-65

安全上のご注意

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）の電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。

2 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。

3 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

4 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

5 アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

2 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。

⚠警告

3 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。

- 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
- バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

4 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。

- 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
- 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。

5 使用環境に適した延長コードを使用してください。

6 USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。

- 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

作業者に関する安全事項

1 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2 安全保護具を使用してください。

- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

⚠警告

3 不意な始動は避けてください。
- バッテリを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

4 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6 きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠警告

充電工具の使用および手入れ

1 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

2 スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

3 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具から離れるとき
- 本製品の受け渡し
- その他危険が予想される作業

4 使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

5 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

⚠警告

6 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
・取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
・指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリに関する安全事項

1 バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
・スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。

2 バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
・ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

3 マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

4 バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。

⚠警告

5 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
- 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
- バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

6 バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
- 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

7 バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
- 発火、破裂の恐れがあります。

8 バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

9 分解・改造をしないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

10 バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
- バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

11 バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
- バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

12 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。

13 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
- 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警告

14 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
- 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

15 バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

16 使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。

17 バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
- 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠警告

その他の安全事項

1 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 本製品やバッテリが異常に熱い。
  - 本製品やバッテリに深いキズや変形がある。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4 ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

- 爆発や火災の恐れがあります。

5 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

⚠警告

6 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

9 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

10 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

11 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
- 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠警告

12 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

・充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。

・ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

JPB349-6

充電式草刈機安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式草刈機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1 本製品は雑草の刈払いを目的とした製品です。この目的以外には、使用しないでください。

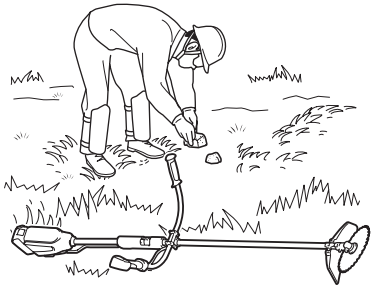
・目的以外で使用されますと、けがや事故の原因になります。また本製品の寿命を縮めます。

2 作業場所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

・埋設物があると刈刃が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

3 作業場所にある小石、針金、空きカン、空きビンなどの障害物は取り除いてから使用してください。

・使用中に刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、本製品の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故やけがの原因になります。



4 足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。また、ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。

・転倒してけがの原因になります。

5 刈刃が石や縁石、フェンス、立ち木などに当たる恐れのある場所では十分注意して使用してください。

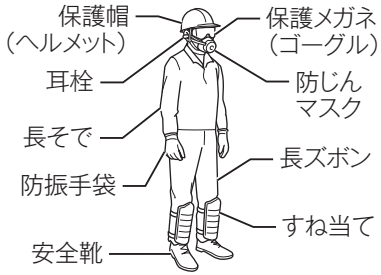
・使用中に刈刃が石や縁石、フェンス、立ち木などに当たると、跳ね返りまたは刈刃が破損し、事故の原因になります。

⚠警告

6 落雷の恐れがあるときは作業しないでください。

7 保護帽（ヘルメット）、耳栓、保護メガネ（ゴーグル）、防振手袋、滑り止めの付いた安全靴、すね当てなどの保護具を着用してください。けがの原因になります。

- 転倒や頭上の木の枝、落下物などから頭を保護するため、保護帽（ヘルメット）を着用してください。
- 騒音から聴覚を保護するため、耳栓などの保護具を着用してください。
- 刈刃部から飛んでくるものから目を保護するため、保護メガネ（ゴーグル）を着用してください。
- 手の保護のため、防振手袋を着用してください。



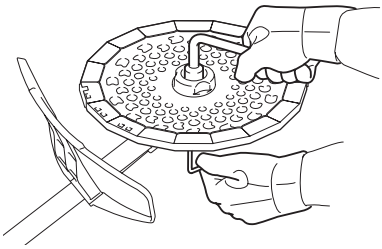
- 刈刃部から飛んでくるものから足を保護するため、底に滑り止めの付いた安全靴（先しん入り）を着用してください。
- 刈刃部から飛んでくるものから足を保護するため、すね当てを着用してください。
- 粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。

8 袖や裾の締まりのよい服装をしてください。また手ぬぐいやタオルを首からさげて作業しないでください。

- 回転部に巻き込まれけがの原因になります。

9 刈刃類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。また刈刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋および刈刃カバーを付け、手や顔などに直接刈刃が触れないようにしてください。

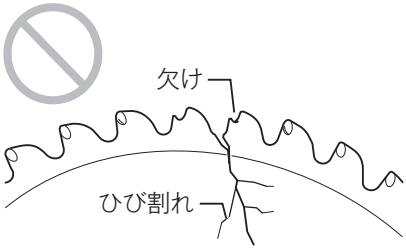
- 確実に取り付けていないとはずれたりし、けがの原因になります。



⚠警告

10 始動前に、刈刃にひび割れ、キズ（欠け、摩耗など）、変形などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、刈刃点検時には手袋を着用してください。

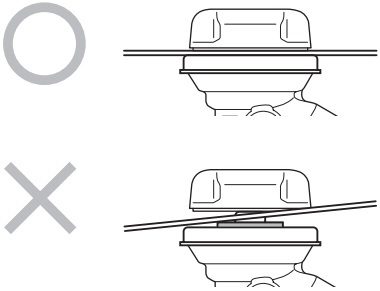
・異常があると刈刃が破損し、けがの原因になります。



［刈刃の拡大図］

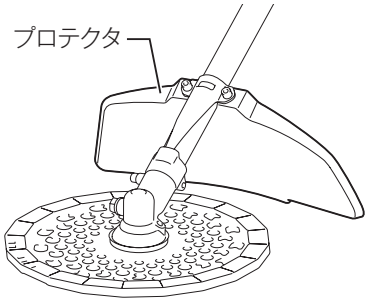
11 刈刃を取り付ける場合は、刃受金具の凸部と刈刃の取り付け穴を確実にはめてください。

・刈刃が正しく取り付いていないと異常振動し、けがの原因になります。
・刈刃が破損したり、はずれたりすると事故の原因になります。



12 プロテクタ（飛散防護カバー）は必ず指定の位置に取り付けて使用してください。また、ひび割れや変形など異常のあるプロテクタ（飛散防護カバー）は使用しないでください。

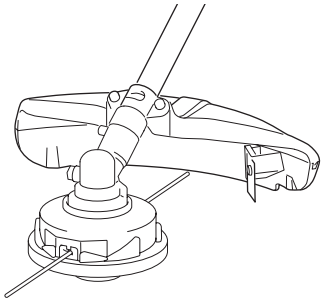
・プロテクタ（飛散防護カバー）を取り付けなかったり、指定の位置に取り付けないで使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。
・異常のあるプロテクタ（飛散防護カバー）は使用中に破損して、けがの原因になります。



⚠ 警告

13 ナイロンコードカッタを使用できる製品は、ナイロンコードカッタ専用のプロテクタ（飛散防護カバー）を使用してください。プロテクタ（飛散防護カバー）を取り付けるときは、ナイロンコード用のカッタに触れないでください。

・けがの原因になります。
・故障の原因になります。



14 ハンドルと肩掛けバンドは取扱説明書に従って確実に取り付けてください。肩掛けバンドを着用して、本製品を身体の右側に吊り、草刈刃が地面と平行になるように肩掛けバンドの長さを調整するとともに、ハンドルの取り付け位置も指定の位置で調整してください。

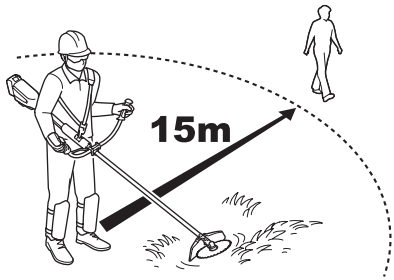
・肩掛けバンド、ハンドルを取りはずして作業するとけがの原因になります。

15 本製品は両手で確実に保持し、体重が両足にかかるように適度に足を開いて使用してください。その際、ハンドル部、グリップ部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。

・確実に保持していないと、作業中にバランスを失い、けがをする恐れがあります。

⚠警告

16 本製品を始動させる前に、半径 15 m 以内に他の人や動物がいないことを確認してください。特に子供やペットが近くにいるときは、半径 15 m 以内にかかわらず使用しないでください。
また使用中、15 m 以内に他の人や動物などが近づいた場合は、直ちにスイッチを切り、刈刃の回転停止を確認して、注意をうながしてください。

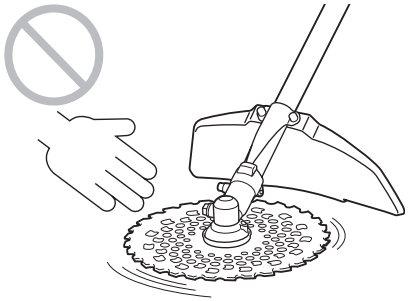


・ 不用意に他の人や動物などを近づけると、飛散物が当たるなど思わぬ事故の原因になります。

17 2 人以上で作業を行うときは、お互いに 15 m 以上の間隔を取り、監督者を置いてください。また、他の作業者に近づくときは、15 m 以上離れた位置で合図し、スイッチを切り、刈刃の回転が停止したことを確認してから近づいてください。

・ 不用意に他の人や動物などを近づけると、飛散物が当たるなど思わぬ事故の原因になります。

18 回転している刈刃に手や顔や髪の毛、衣服などを絶対に近づけないでください。
・ けがの原因になります。

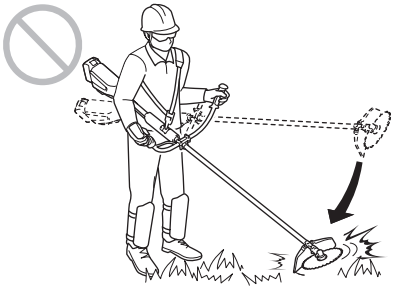


⚠警告

19 刈刃に雑草などがからみついたときは、必ずスイッチを切り、刈刃の回転が停止したことを確認してから取り除いてください。
・刈刃が回ったままではけがの原因になります。

20 刈刃から手や足が離れていることを確認してから始動してください。
・けがの原因になります。

21 刈刃で打つ、叩くなどの方法で刈払作業をしないでください。
・跳ね返りや刈刃が破損し事故の原因になります。



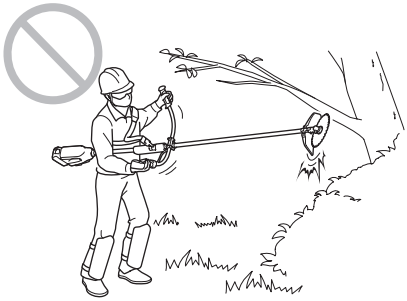
22 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所まで点検・修理をお申し付けください。
・そのまま使用しているとけがなど事故の原因になります。

23 次のような操作・作業はしないでください。思わぬ事故の原因になります。
・刈刃を膝より高く持ち上げての作業
・刈刃が足元に近づくような作業
・刈刃が土に入り込むような作業
・本製品をバイス（万力）などで固定した作業

⚠警告

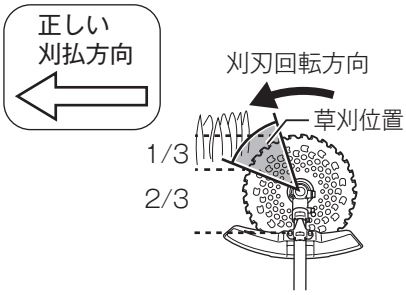
24 枝打ちなどの作業はしないでください。

・樹木や切株などの障害物に刈刃を接触させると、キックバックが起き大変危険です。

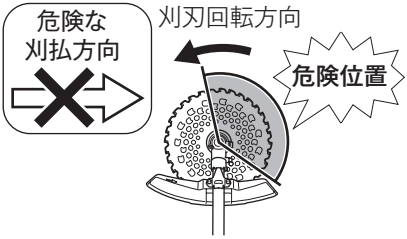


25 キックバック現象が起きにくい刈刃の位置で刈払作業をしてください。

・本製品は刈刃が反時計方向に回転します。図を参考に、刈刃の左側の前 1/3 を目安にして、刈刃を右から左に操作して草を刈ってください。



・刈刃の先端から右側部分で草を刈ったり、硬いものに接触すると、刈刃の回転で障害物を駆け上がる力が働き、本製品が右側に大きくはねるキックバック現象が発生することがあり、けがや事故の原因になります。



26 誤って本製品を落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことを点検してください。

・破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。

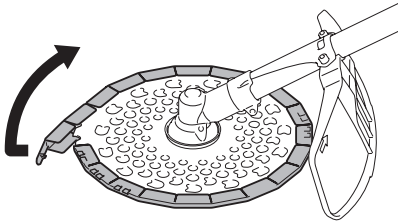
27 刈刃は刃物軸最高回転数よりも高い許容回転数のものを使用してください。

・刈刃の許容回転数が低いと刈刃が破損し、事故の原因になります。

⚠警告

28 使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがないか確認してください。
・不完全な本製品を使用すると発煙、発火、感電またはけがの原因になります。

29 作業を始める前に刈刃から刈刃カバーを取ってから使用してください。



30 使用中に刈刃が石、立ち木、杭などの障害物に当たったときは、すぐに本製品を停止させ異常がないか調べてください。
・そのまま使用していると事故の原因になります。

31 刈刃が地面や樹木、その他の障害物に触れていないことを確認してから始動してください。
・刈刃が障害物に触れていると事故の原因になります。

32 ナイロンコードカッタを使用できる製品は、ナイロンコードの長さ調整後、ナイロンコードが地面や樹木、その他の障害物に触れていないことを確認してから始動してください。
・ナイロンコードが障害物に触れていると事故の原因になります。

33 休憩時など本製品から離れるときは、必ずスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
・バッテリを本製品に差したまま放置すると、事故の原因になります。

⚠警告

34 保守、点検の際は、必ずスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
・バッテリを本製品に差したまま行うと、事故の原因になります。

35 本製品は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は身体に負担をかけることがありますので、定期的に休息をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休憩してください。
・力仕事に不慣れな、例えばご高齢の方は、特に身体への負担にご注意ください。

36 通気口を雑草や刈った草のくずなどでふさがないように常に注意してください。
・モータが故障する原因になります。

37 使用直後の本製品のギヤケース部を触らないでください。
・やけどをする可能性があります。

38 子供や取り扱いに詳しくない人に本製品を使用させないでください。
・けがや事故の原因になります。

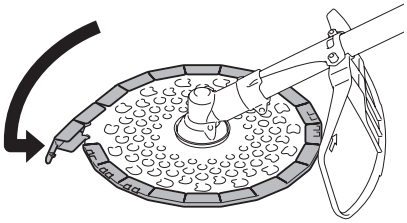
39 子供が本製品で遊ぶことがないように、十分に注意してください。
・けがや事故の原因になります。

⚠注意

1 身体を冷やさないような服装で作業してください。

2 降雪時や積雪中での使用は避けてください。
・ 製品が凍結して故障する恐れがあります。

3 使用しないときや運搬時や保管時、休憩時は刈刃カバーを必ず取り付けてください。
・ けがの原因になります。



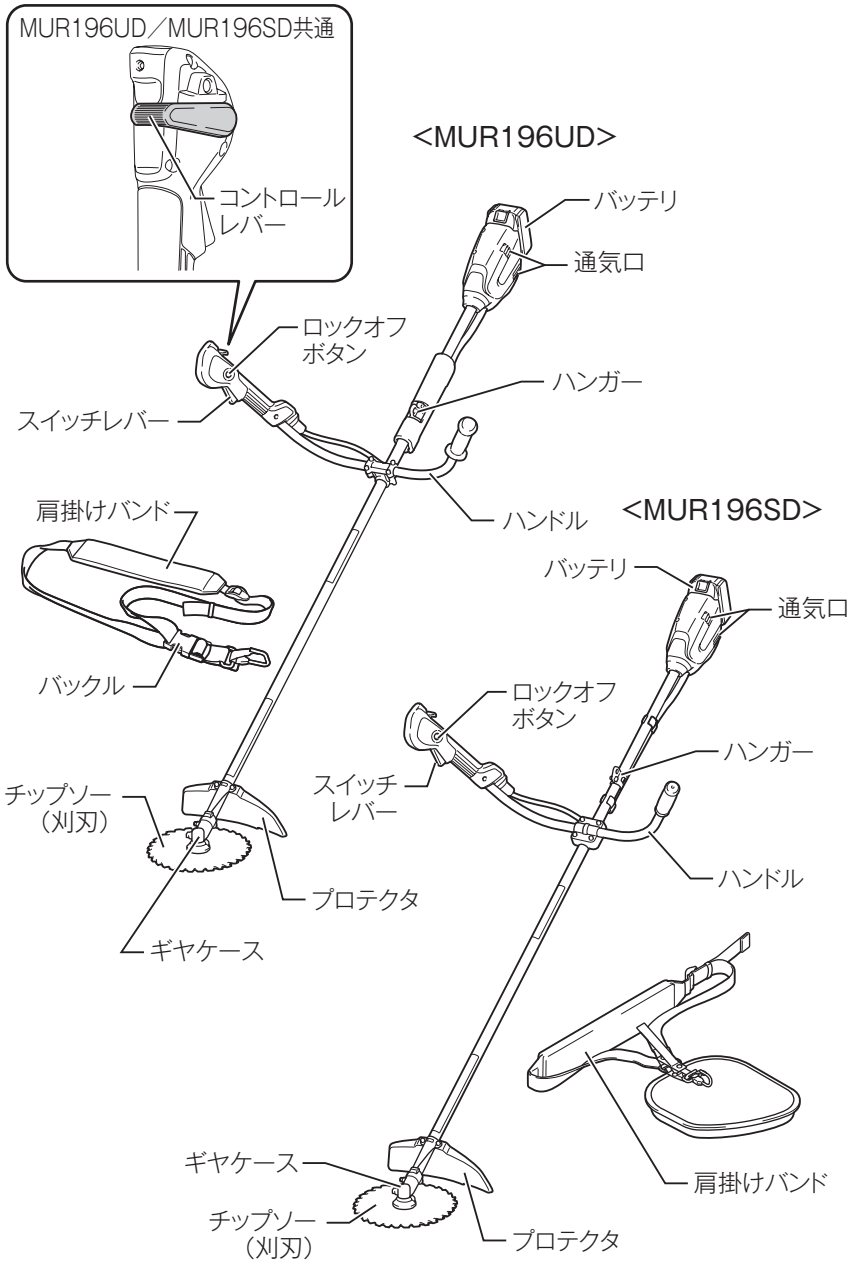
4 万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場の近くに備え付けてください。救急箱から持ち出した場合には、直ちに交換品を入れておいてください。

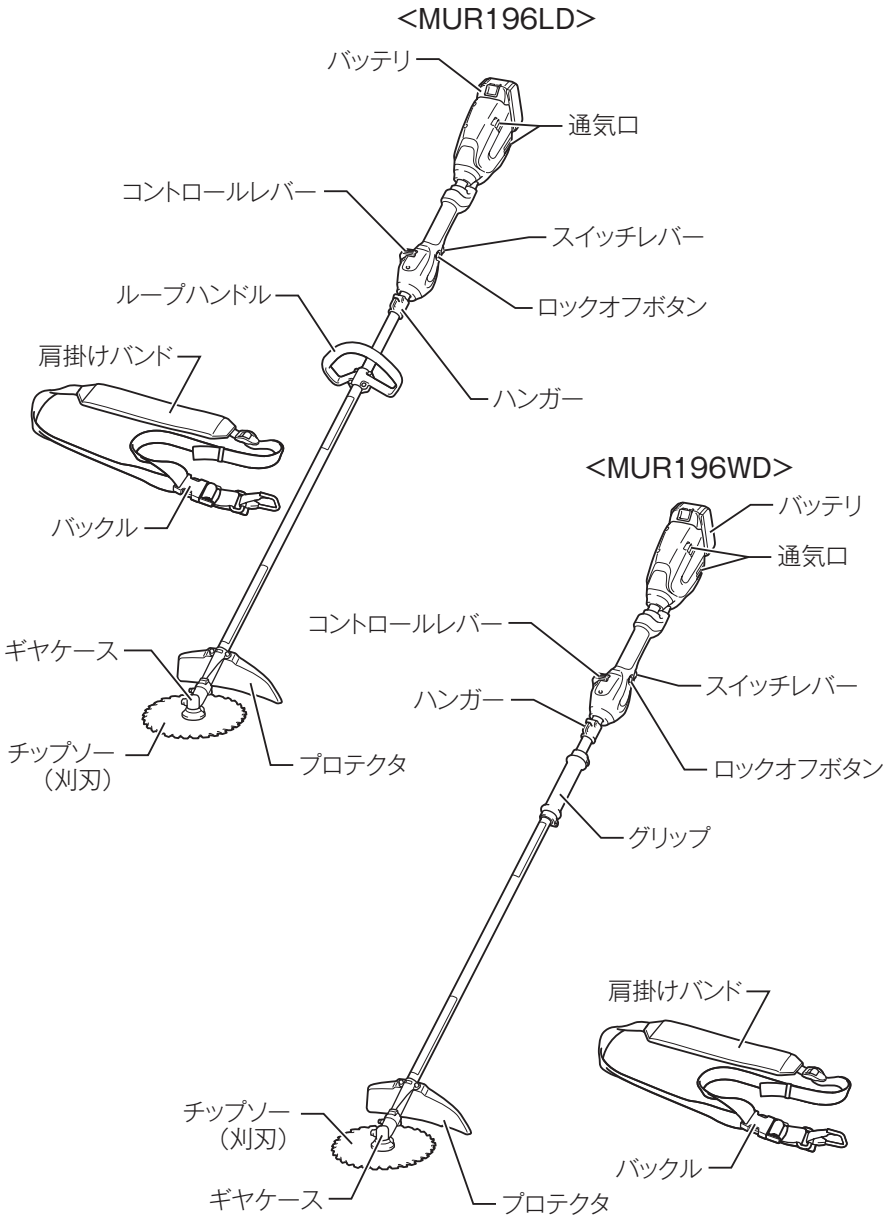
5 注意ラベルがはがれてしまった場合は、新しい注意ラベルを貼ってください。
注意ラベルは、お買い上げの販売店、または当社営業所に手配をお申し付けください。

6 いつも安全に能率よくご使用いただくために定期点検をおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因になります。

7 作業に合った刈刃の回転数で使用してください。
・ 回転数が低すぎますと雑草がからみつくことがあります。
・ 回転数が高すぎますと電力を無駄に消費するだけでなく、本製品の寿命を縮める原因にもなります。

各部名称


MUR196UD／MUR196SD共通
コントロール
レバー
<MUR196UD>
バッテリ
通気口
ロックオフ
ボタン
ハンガー
スイッチレバー
ハンドル
肩掛けバンド
<MUR196SD>
バッテリ
通気口
バックル
ロックオフ
ボタン
ハンガー
スイッチ
レバー
チップソー
（刈刃）
ハンドル
プロテクタ
ギヤケース
ギヤケース
肩掛けバンド
チップソー
（刈刃）
プロテクタ


<MUR196LD>
バッテリ
通気口
コントロールレバー
スイッチレバー
ループハンドル
ロックオフボタン
肩掛けバンド
ハンガー
バックル
ギヤケース
チップソー
（刈刃）
プロテクタ
<MUR196WD>
バッテリ
通気口
コントロールレバー
スイッチレバー
ハンガー
ロックオフボタン
グリップ
肩掛けバンド
チップソー
（刈刃）
バックル
ギヤケース
プロテクタ

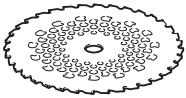
梱包部品の確認

■ MUR196UD

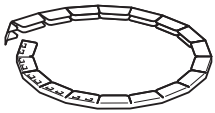
MUR196UDRGのみ

充電器（DC18RF）

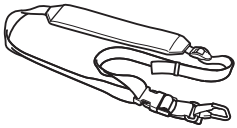
バッテリ（BL1860B）
バッテリカバー



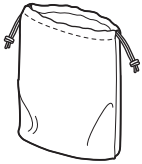
チップソー
紙ケース入り



刈刃カバー

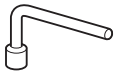


肩掛けバンド



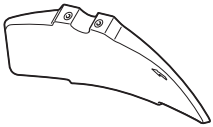
アクセサリバッグ

保護メガネ



ボックスレンチ

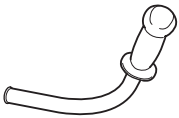
六角棒スパナ4



プロテクタ

取付金具

六角穴付ボルト
M5×14（2本）



ハンドルU

ハンドルホルダB

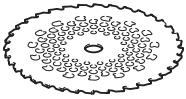
六角穴付ボルト
M5×25（4本）

■ MUR196LD

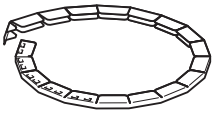
MUR196LDRGのみ

充電器（DC18RF）

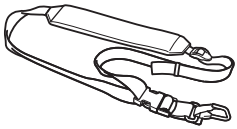
バッテリ（BL1860B）
バッテリカバー



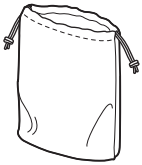
チップソー
紙ケース入り



刈刃カバー



肩掛けバンド

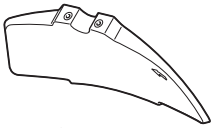


アクセサリバッグ

保護メガネ

ボックスドライバ

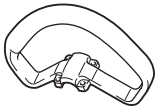
六角棒スパナ4



プロテクタ

取付金具

六角穴付ボルト
M5×14（2本）



ループハンドル

ハンドルホルダ

ネジ（4本）

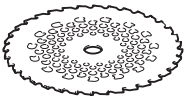
ナット（4個）

■ MUR196WD

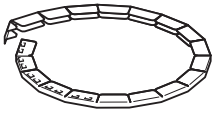
MUR196WDRGのみ

充電器（DC18RF）

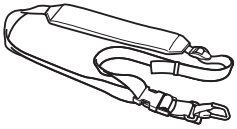
バッテリ（BL1860B）
バッテリカバー



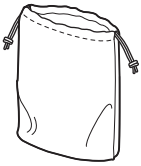
チップソー
紙ケース入り



刈刃カバー

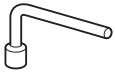


肩掛けバンド



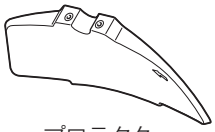
アクセサリバッグ

保護メガネ



ボックスレンチ

六角棒スパナ4

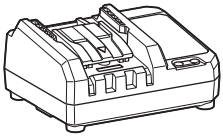


プロテクタ

取付金具

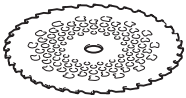
六角穴付ボルト
M5×14（2本）

■ MUR196SD

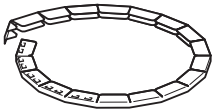


充電器（DC18WC）

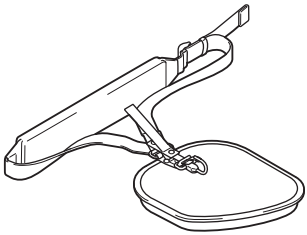
バッテリ（BL1830B）
バッテリカバー



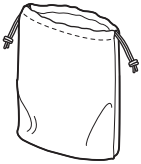
チップソー
紙ケース入り



刈刃カバー

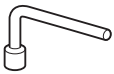


肩掛けバンド



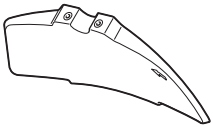
アクセサリバッグ

保護メガネ



ボックスレンチ

六角棒スパナ4



プロテクタ

ハンドル

取付金具

六角穴付ボルト
M5×14（2本）

アッパハンドル
ホルダ19

ロアハンドル
ホルダ

パイプホルダ24

六角穴付ボルト
M5×30（4本）

標準付属品の確認

標準付属品＼モデル	MUR196UDZ MUR196WDZ	MUR196UDRG MUR196WDRG
バッテリ	×	BL1860B （容量 6.0 Ah）
バッテリカバー	×	○
充電器 （充電時間）	×	DC18RF （実用充電完了※ 1:約27分） （フル充電完了※ 2:約40分）
肩掛けバンド	○	○
チップソー	○	○
ボックスレンチ	○	○
六角棒スパナ 4	○	○
アクセサリバッグ	○	○
刈刃カバー	○	○
保護メガネ	○	○

標準付属品＼モデル	MUR196LDZ	MUR196LDRG
バッテリ	×	BL1860B （容量 6.0 Ah）
バッテリカバー	×	○
充電器 （充電時間）	×	DC18RF （実用充電完了※ 1:約27分） （フル充電完了※ 2:約40分）
肩掛けバンド	○	○
チップソー	○	○
ボックスドライバ	○	○
六角棒スパナ 4	○	○
アクセサリバッグ	○	○
刈刃カバー	○	○
保護メガネ	○	○

※ 1 実用充電完了：フル充電完了の約 80 % の充電が完了した状態。
※ 2 フル充電完了：バッテリの容量いっぱいまで充電された状態。

モデル 標準付属品	MUR196SDWF
バッテリ	BL1830B （容量 3.0 Ah）
バッテリカバー	○
充電器 （充電時間）	DC18WC （約 80 分）
肩掛けバンド	○
チップソー	○
ボックスレンチ	○
六角棒スパナ 4	○
アクセサリバッグ	○
刈刃カバー	○
保護メガネ	○

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

バッテリ、充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリ（容量）	BL1815N（1.5 Ah）	A-60311
	BL1820B（2.0 Ah）	A-61715
	BL1830B（3.0 Ah）	A-60442
	BL1850B（5.0 Ah）	A-59900
	BL1860B（6.0 Ah）	A-60464
対応充電器	DC18RC（急速充電器）	JPADC18RC
	DC18RD（2 口急速充電器）	JPADC18RD
	DC18RF（急速充電器）	JPADC18RF
	DC18SD（充電器）	JPADC18SD
	DC18SF（4 口充電器）	JPADC18SF
	DC18SH（2 口充電器）	JPADC18SH
	DC18WC（充電器）	JPADC18WC

バッテリアダプタ / ポータブル電源ユニット

・ ポータブル電源ユニット
PDC01
部品番号：A-69098

・ 18 V 用アダプタ
部品番号：A-69082
ポータブル電源ユニット PDC01 使用時に必要となるアダプタです。

⚠ 警告

ポータブル電源ユニットなどの背負い式電源装置と組み合わせて使用する場合は、組み合わせ推奨の吊り下げバンドを使用し、本製品に付属の肩掛けバンドを使用しないでください。組み合わせ推奨の吊り下げバンドについては、当社カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所にお問い合わせください。

・ 本製品の肩掛けバンドと背負い式電源装置のハーネスを重ねて着用すると、緊急時にポータブル電源ユニットなどの背負い式電源装置や、本製品を身体からはずすことが困難となり、事故やけがの原因となる恐れがあります。

金属刃

- DC タフホワイトチップソー
  （外径 230 mm）
  部品番号：A-78704
- DC ホワイトチップソー
  （外径 230 mm）
  部品番号：A-67315
- DC 軽快チップソー
  （外径 230 mm）
  部品番号：A-78689

ナイロンコードカッタ

- ウルトラメタルローラー 4
  部品番号：A-58241
- らく巻きフラットナイロンカッタ
  部品番号：A-79435
- 予備ナイロンコード
  （φ 2.4　30 m 巻、断面形状花形）
  部品番号：A-75611
- 予備ナイロンコード
  （φ 2.4　50 m 巻、断面形状花形）
  部品番号：A-75627
- 予備ナイロンコード
  （φ 2.4　30 m 巻、断面形状丸形）
  部品番号：A-33255
- 予備ナイロンコード
  （φ 2.4　50 m 巻、断面形状丸形）
  部品番号：A-33261
- 予備ナイロンコード
  （φ 2.0　30 m 巻、断面形状花形）
  部品番号：A-60844
- 予備ナイロンコード
  （φ 2.0　50 m 巻、断面形状花形）
  部品番号：A-60850

樹脂刃

- 樹脂刃ベースセット品
  部品番号：A-68323
- 樹脂刃替刃セット品（12 枚入り）
  部品番号：A-68345

プロテクタ

⚠ 警告

ナイロンコードカッタ、および樹脂刃を使用する際は、別販売品のナイロンコードカッタ・樹脂刃用のプロテクタを取り付けてご使用ください。

・ 当社指定のナイロンコードカッタ用プロテクタを取り付けることで、ナイロンコードが適切な長さでカットされます。
・ 当社指定以外のナイロンコードカッタ・樹脂刃用プロテクタを取り付けた場合、飛散物によるけがや本製品故障の原因になります。

・ プロテクタセット品（ナイロンコードカッタ、樹脂刃兼用）
部品番号：A-75736

その他

・ 草刈安定板
部品番号：A-79108

・ マキタグリス N No.2
部品番号：199449-0

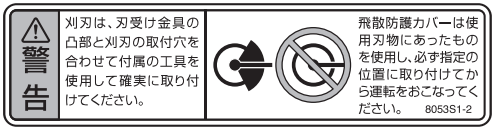
その他

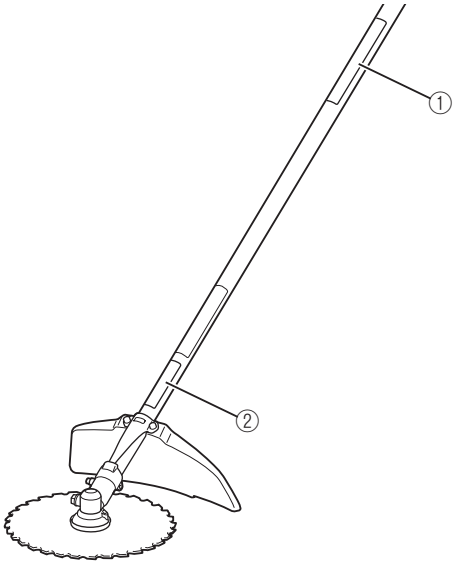
注意ラベル

安全に使用していただくために、本製品には注意ラベルが貼ってあります。
注意ラベルをすべて読んでからご使用ください。
注意ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。
本製品に貼ってあるラベルが汚れ、破れなどで読めなくなったときは、新しいラベルに貼り替えてください。またラベルが貼られている部分を交換する場合は、ラベルも新しいものと交換し、貼り付けてください。
ラベルの手配はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

貼り付け位置：①

貼り付け位置：②





ご使用前の準備

組み立て

⚠ 警告

本製品の組み立てや付属品・別販売品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。
・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

付属品・別販売品を確実に取り付けてから作業してください。

刈刃の組み合わせ

⚠ 警告

外径 230 mm の刈刃を使用してください。

外径 230 mm を越える刈刃を使用しないでください。
・ けがの原因になります。

プロテクタの取り付け方

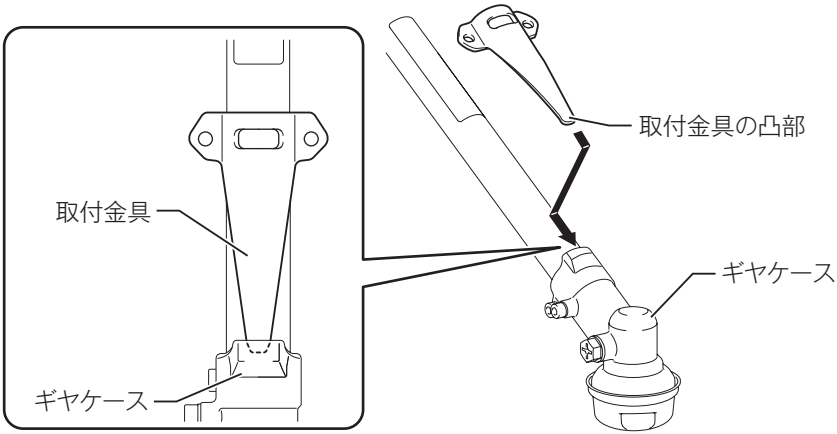
⚠ 警告

刈刃とプロテクタは正しい組み合わせで使用してください。
・ けがの恐れがあります。

プロテクタをはずした状態で使用しないでください。
・ 事故やけがの恐れがあります。

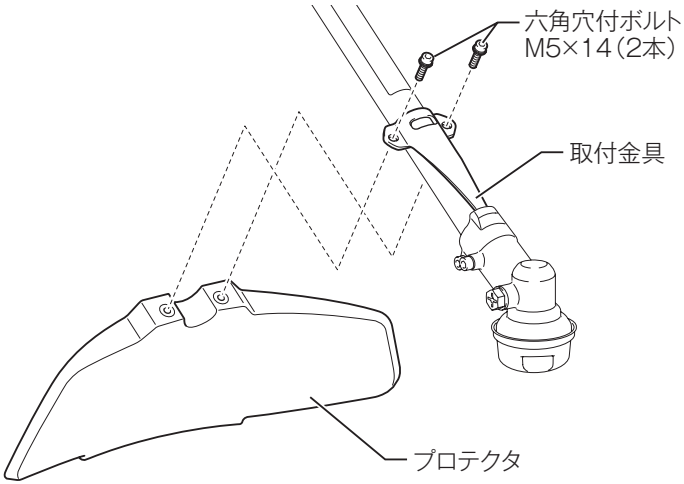
プロテクタは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。
・ プロテクタを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けないで使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。

1. 取付金具の凸部を図のようにギヤケース（後端）に奥まで挿し込みます。



2. 取付金具にプロテクタを六角穴付ボルト M5 × 14（2 本）で取り付け、付属の六角棒スパナ 4 でしっかり締め付けます。

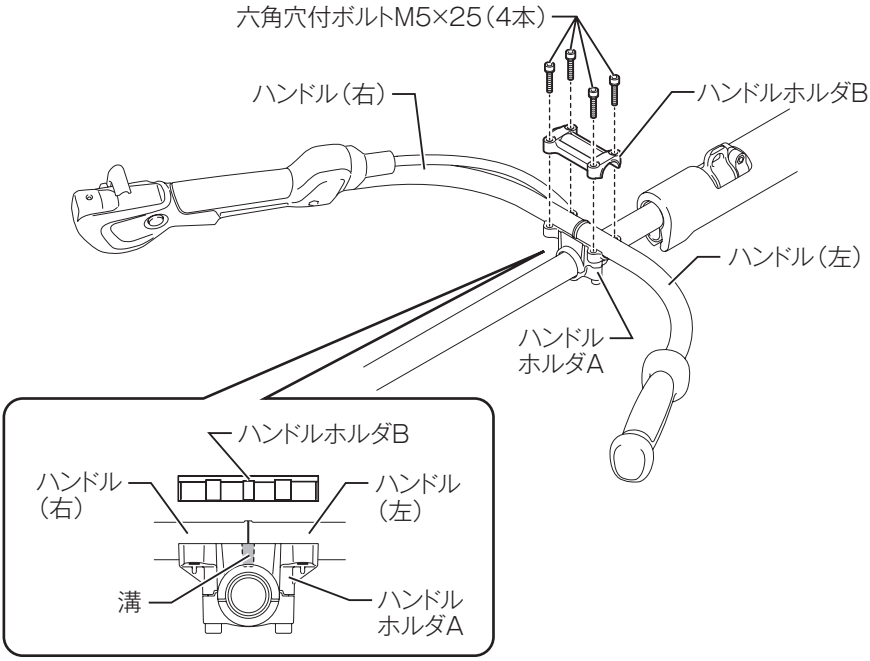
・2 本とも均等に締め付けてください。



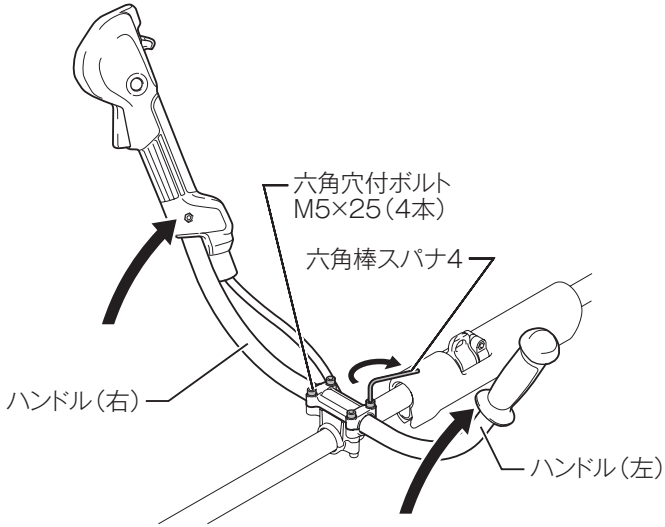
ハンドルの取り付け方

■ ハンドル U の取り付け方（MUR196UD）

1. ハンドルホルダ A の溝に左右のハンドルの端を合わせてのせ、ハンドルホルダ B を六角穴付ボルト M5 × 25（4 本）で仮止めします。

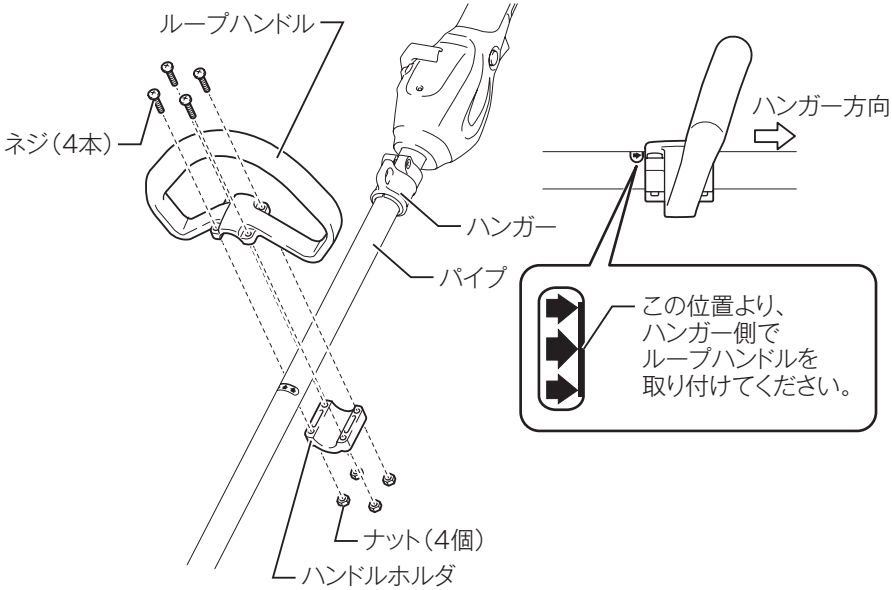


2. 左右のハンドルを起こして使いやすい角度に調整し、仮止めした六角穴付ボルト M5 × 25（4 本）を付属の六角棒スパナ 4 でしっかり締め付けます。



■ ループハンドルの取り付け方（MUR196LD）

・ 図のようにループハンドルとハンドルホルダをネジ(4 本)とナット(4 個)でパイプに固定します。



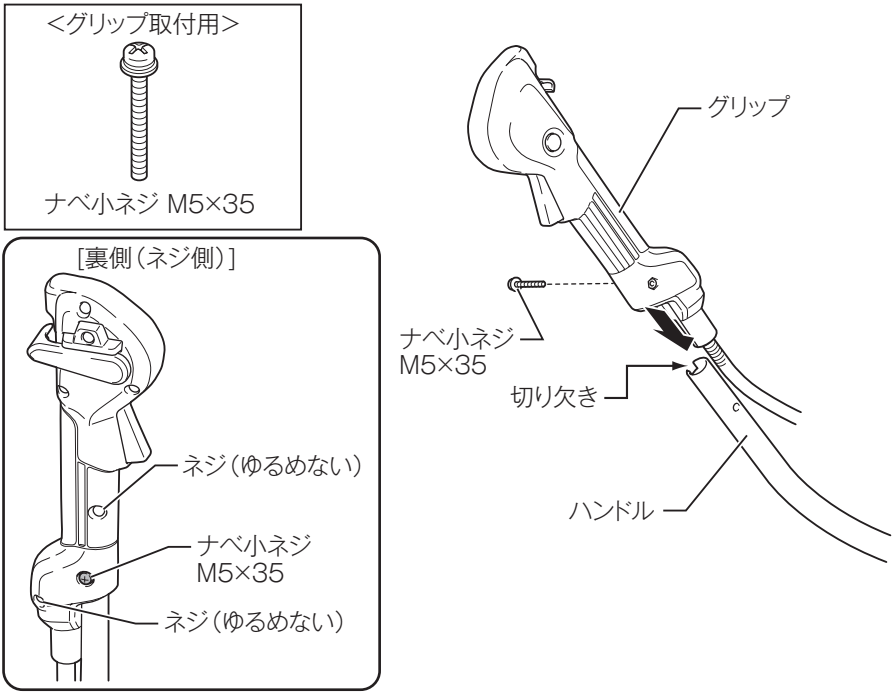
■ ハンドルの取り付け方（MUR196SD）

1. プラスドライバを使用して、グリップからナベ小ネジ M5 × 35 を取りはずします（下図を参考に取りはずすネジにご注意ください）。

2. 下図のようにグリップの方向を合わせた後、ハンドルにグリップを挿し込みます。

この際、グリップを矢印の方向に押さえながら、左右に少し回してグリップが回り止めされたことを確認してください。

3. グリップが回り止めされた位置で、手順 1 ではずしたナベ小ネジ M5 × 35 をプラスドライバで締め付けます。

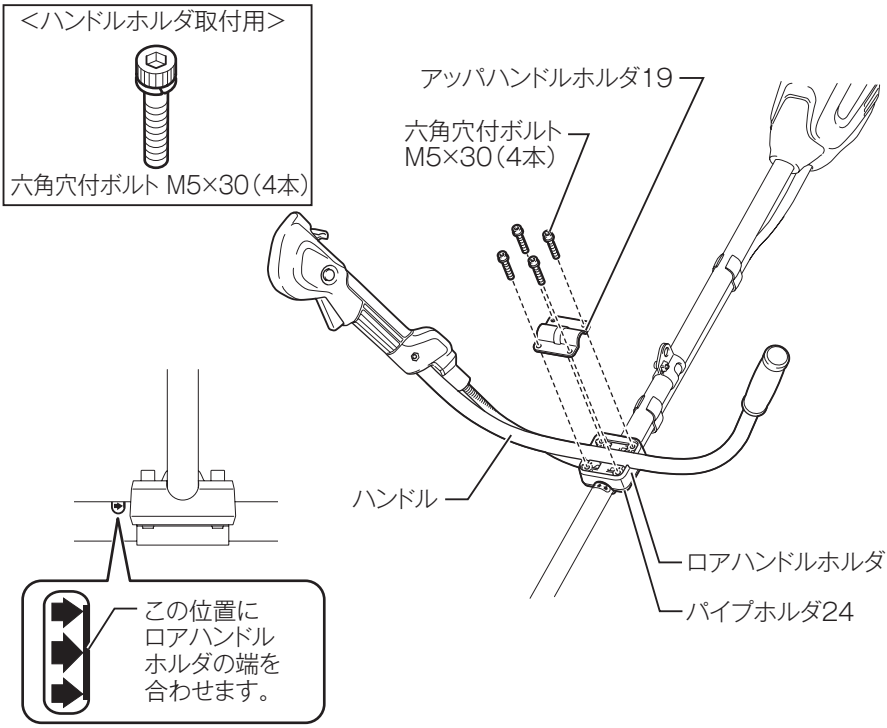


注	・グリップが回り止めされていないと、ナベ小ネジは締め付けられません。

4. ハンドルを下図のようにロアハンドルホルダにのせます。

5. アッパハンドルホルダ 19、ロアハンドルホルダおよびパイプホルダ 24 を六角穴付ボルト M5 × 30（4 本）で仮止めします。

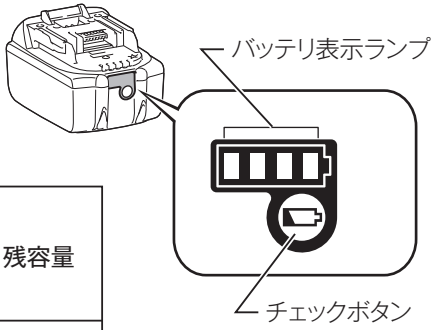
6. ハンドルを使いやすい角度に調整し、仮止めした六角穴付ボルト M5 × 30（4 本）を六角棒スパナ 4 でしっかり締め付けます。



バッテリの充電

バッテリ残容量表示

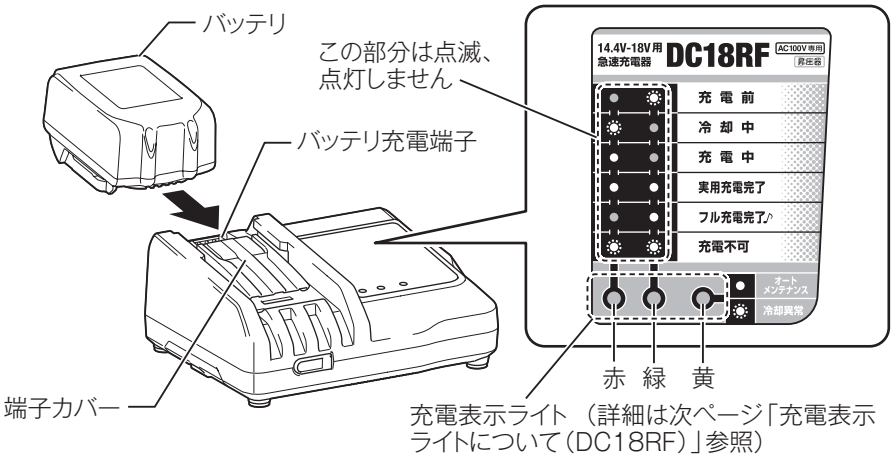
バッテリ表示ランプを搭載したバッテリでは残容量の確認ができます。
・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリ表示ランプ :点灯　:点滅　:消灯	バッテリ残容量
	75 % - 100 %
	50 % - 75 %
	25 % - 50 %
	0 % - 25 %
	充電してください。
	バッテリの異常です。

注	・表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。 ・バッテリ保護機能が働いた際は、左端のバッテリ表示ランプが点滅します。

バッテリの充電方法（DC18RF）



1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに挿し込みます。

・充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。

2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。

・充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。

3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。

4. 充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。

・充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。

・充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 30 分です。

5. バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電器は屋内で使用してください。

充電表示ライトについて（DC18RF）

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
（通常充電のライト表示および表示内容）

ライト表示 ☀ 点滅 ● 点灯	表示内容
○ 緑☀	充電前　「緑 1 個」点滅 電源に挿し込んだ状態です。
赤☀ ○	冷却中　「赤 1 個」点滅 バッテリが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
赤● ○	充電中　「赤 1 個」点灯 バッテリ容量約0～80 %を示します。
赤● 緑●	実用充電完了　「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリ容量約80～100 %を示します。
○ 緑●	フル充電完了　「緑 1 個」点灯 電子ブザーまたはメロディー

（オートメンテナンス時のライト表示および表示内容）

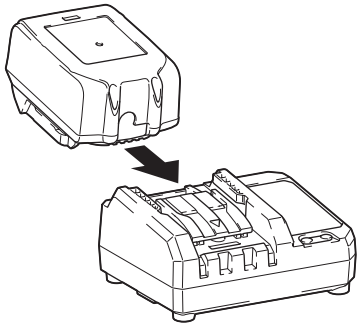
○ ○ 黄●	オートメンテナンス　「黄」点灯 バッテリ寿命低下防止のため充電時間が長くなります。

（異常時のライト表示および表示内容）

赤☀ 緑☀ ○	充電不可　「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。
○ ○ 黄☀	冷却システム異常　「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

注	・DC18RF はマキタバッテリ専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。 ・使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。 このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。 ・充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できません。 ・次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。 ×充電器のプラグを 100 Vの電源に挿し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。 ×バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。 ・バッテリを使用しないときは、バッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリの充電方法（DC18WC）



1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに挿し込んでください。

・充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。

2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。

・充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。

3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。

・充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。

4. バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

充電器は屋内で使用してください。

充電表示ライトについて（DC18WC）

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
（通常充電のライト表示および表示内容）

ライト表示 ☀ 点滅 ● 点灯 ○ 消灯	表示内容
○ 緑	充電前「緑１個」点滅 電源に挿し込んだ状態です。
赤 ○	待機中「赤１個」点滅 バッテリが充電可能な温度状態になった後、自動的に充電開始します。
赤 ○	充電中「赤１個」点灯 バッテリ容量約0～80％を示します。
赤 緑	充電中「赤１個・緑１個」点灯 バッテリ容量約80～100％を示します。
○ 緑	充電完了「緑１個」点灯

（異常時のライト表示および表示内容）

赤 緑	充電不可「赤・緑１個」交互点滅 バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。

注	・DC18WC はマキタバッテリ専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。 ・使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。 このようなときは、バッテリの温度が下がると充電を開始します。 ・充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できません。 ・オートメンテナンス機能により､充電時間が周囲温度(10 ℃～ 40 ℃)やバッテリの状態に応じて変動します。 ・次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。 × 充電器のプラグを 100 Vの電源に挿し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。 × バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。 × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、3 時間以上たっても充電が完了しない (表示ライトが「緑」に変わらない)。 ・バッテリを使用しないときは、バッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリ／充電器の取り扱い

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

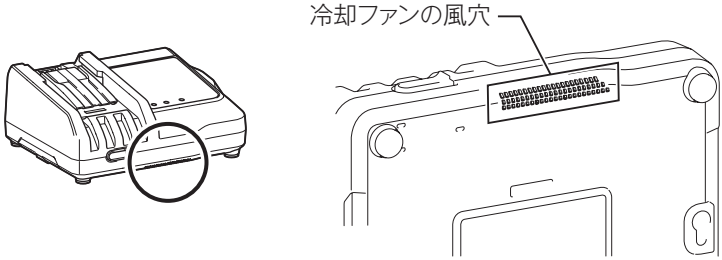
リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管方法

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
×温度や湿度の急変する所
×湿気の多い所
×直射日光の当たる所
×揮発性物質の置いてある所

充電器の冷却システムについて（DC18RF のみ）

・ バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
・ 充電器の前面下部にある「冷却ファンの風穴」がゴミでふさがれていないか定期的に確認、清掃をしてください。



・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
・ 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

充電器のオートメンテナンス機能について（DC18RF）

・ オートメンテナンス機能は、バッテリの使用状態に応じて自動的にバッテリを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
・ 下記 1 ～ 4 の状態となった場合、特にバッテリ寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
  1 高温充電の繰り返し
  2 低温充電の繰り返し
  3 満充電バッテリの再充電の繰り返し
  4 過放電の繰り返し
  （過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です）

充電器のオートメンテナンス機能について（DC18WC）

・ オートメンテナンス機能は、バッテリの使用状態に応じて自動的にバッテリを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
・ 下記１～４の状態となった場合、特にバッテリ寿命が低下しやすい状況にあるため、充電時間が長くなることがあります。
　１高温充電の繰り返し
　２低温充電の繰り返し
　３満充電バッテリの再充電の繰り返し
　４過放電の繰り返し
　　（過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です）

充電器のメロディー切り替え方法（DC18RF のみ）

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。

2. このとき、素早くバッテリを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。

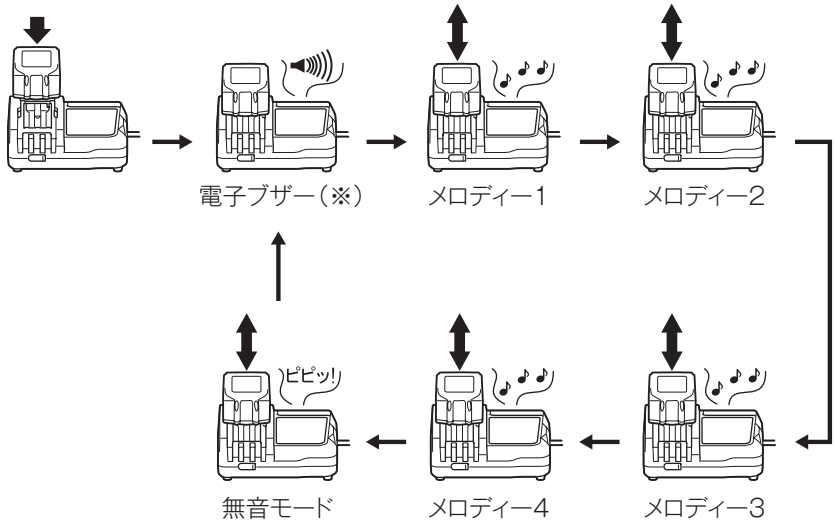
3. 続けて素早くバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。

4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。

「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。

5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。

6. 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。



（※）出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電器の USB 電源端子の使い方（DC18RF のみ）

⚠ 警告

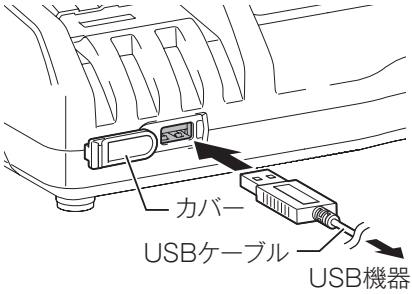
USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。

・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

DC18RF は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注	・万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。 ・USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。 ・2.1 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。USB 電源端子の最大出力電流は、2.1 A です。 ・充電器との接続には、USB 機器付属の USB ケーブルをご使用ください。 ・使用後は充電器正面のカバーを戻してください。カバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し充電器の故障につながります。

1. 本体正面のカバーをはずして、USB ケーブルで USB 機器と充電器を接続してください。



2. 充電器の電源プラグを電源コンセントに挿し込んでください。

3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。

4. 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

壁に取り付けて使用する際のご注意

⚠ 注意

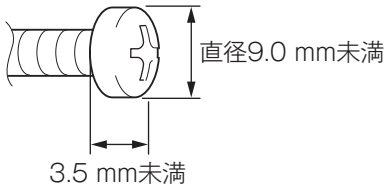
- 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ２本で確実に吊下げてください。
- 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- 取り付け作業を行うときは、バッテリを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- 充電器本体、バッテリの総重量は、それぞれ約 1.6 kg（DC18RF）、約 1.1 kg（DC18WC）になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

用意するもの（別途準備してください）

- 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：２本
  ※ネジ頭は下図の寸法としてください。

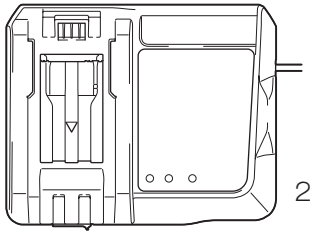


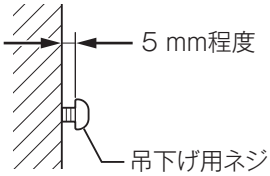
- 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：１本
- 工具（ネジ締め用）

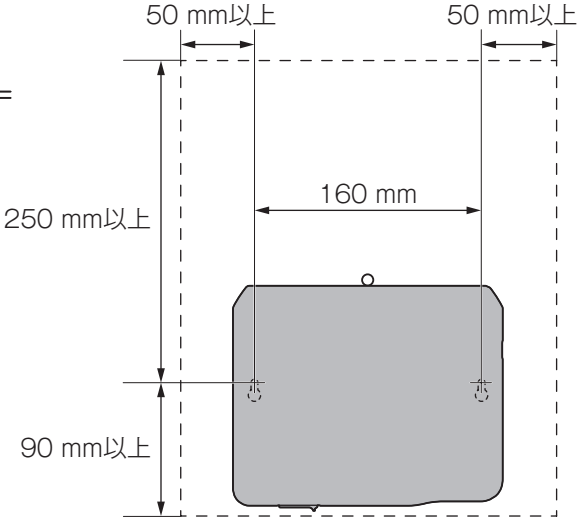
2. 吊下げ用ネジの取り付け

周りに充電器の取り付け作業や、バッテリの充電作業の障害になる出っ張りなどがない、強度のある壁面に取り付けてください。

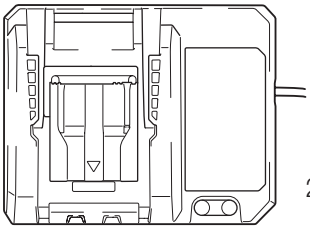
<DC18RF>

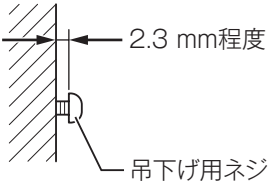


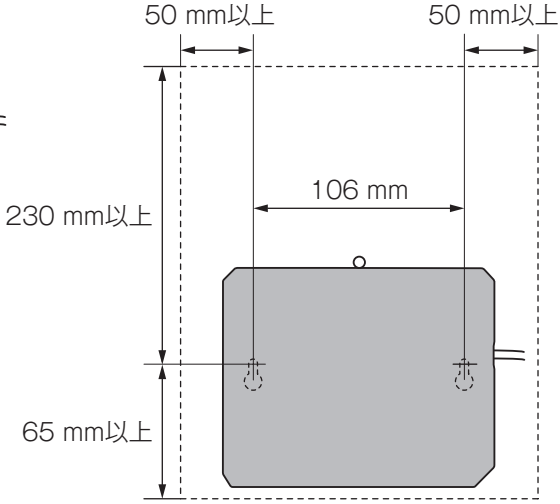




<DC18WC>

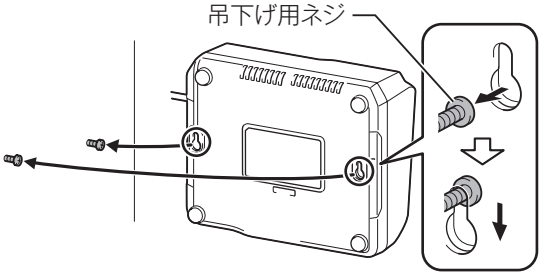






3. 充電器の取り付け

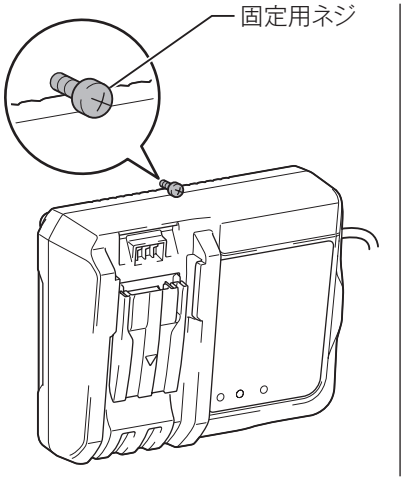
手順２で取り付けた吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。



※イラストはDC18RF

4. 充電器の固定

固定用ネジを図のように締め込んでください。

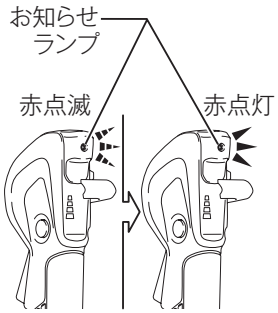
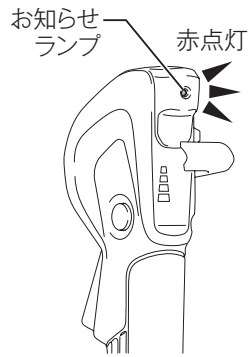


※イラストはDC18RF

使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

状態	対応	お知らせランプ
バッテリの残容量が少なくなると、お知らせランプが点滅します。残容量がなくなると、お知らせランプが点灯し、モータが自動停止します。	本製品からバッテリを取りはずし、バッテリを充電するか、充電されたバッテリに交換してください。	
長時間作業を行い、本製品またはバッテリの温度が高温になると、お知らせランプが点灯し、モータが自動停止します。	使用を中断して本製品を冷ましてください。 本製品を冷ましても動作しない場合は、バッテリを冷ましてください。	
大量の草が刈刃とプロテクタに巻き付き、本製品が過負荷状態になると、お知らせランプが点灯し、モータが自動停止します。	スイッチを OFF にして本製品からバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。	

・ お知らせランプの点滅・点灯のタイミングは、周囲の温度やバッテリの状態によって変化します。
・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（91 ページ参照）に従って点検してください。

各種機能

■ 電気ブレーキ

・ スイッチレバーを放すときに電気的に回転を止めます。ただし、バッテリの残容量が無くなった場合、スイッチを入れたままバッテリを抜いた場合や過負荷保護などの保護機能が作動した場合は、電気ブレーキは作動しません。
また、バッテリの残容量がある場合で、スイッチレバーを放しても本製品がすぐに停止しない状態が続く場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

刈刃（チップソー／ナイロンコードカッタ／樹脂刃）の取り付け／取りはずし方法

⚠警告

刈刃の組み立てや付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。
・本製品が作動して、けがの恐れがあります。

付属品を確実に取り付けてから作業してください。

チップソーの取り付け方／取りはずし方

⚠注意

チップソーを取り付けるときは、チップソーの取付穴を刃受金具の凸部に確実にはめ込んでください。
・チップソーが正しく取り付いていないと異常振動し、事故の原因になります。

チップソーの取り付け、取りはずしの際は、必ず刈刃カバーと手袋をしてください。
・けがの原因になります。

チップソーの取り付け、取りはずしには、必ず付属のボックスレンチ／ボックスドライバを使用してください。
・付属工具以外で締め付けた場合、締め過ぎや締め付け不足となり、事故の原因になります。

チップソーにひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、チップソーの点検時には必ず手袋を着用してください。
・異常があるとチップソーが破損し、けがの原因になります。

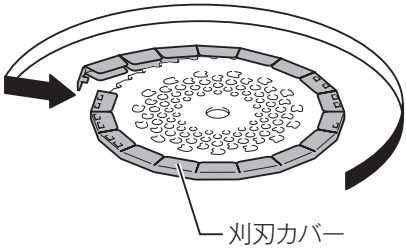
作業時、チップソーに異常が発生したときは、スイッチを切り、バッテリを抜き、チップソーの回転が止まったことを確認してから点検、交換を行ってください。

チップソーを固定する締付ボルト、刃押金具は消耗品です。摩耗や変形がありましたら交換してください。

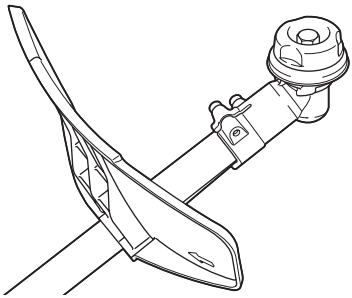
使用直後はギヤケースの温度が高くなっています。十分に冷えてからチップソーの交換を行ってください。
・やけどをする恐れがあります。

■ 取り付け方

1. チップソーに刈刃カバーを取り付けます。

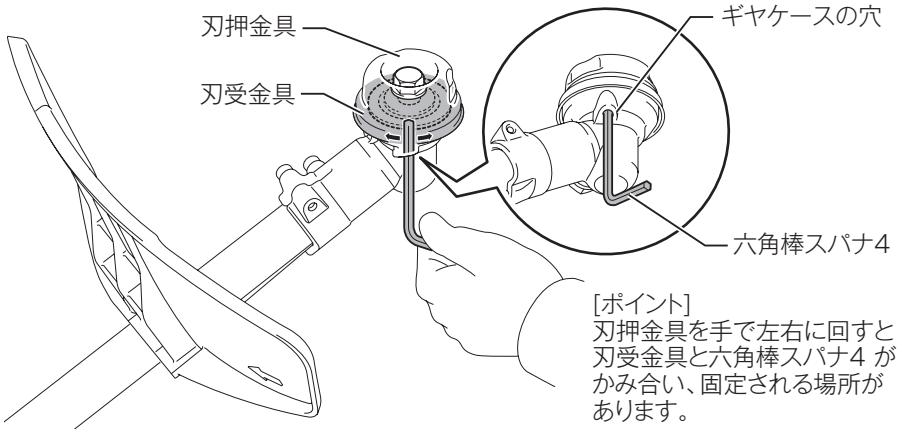


2. チップソーを取り付けやすいように本製品を裏返します。

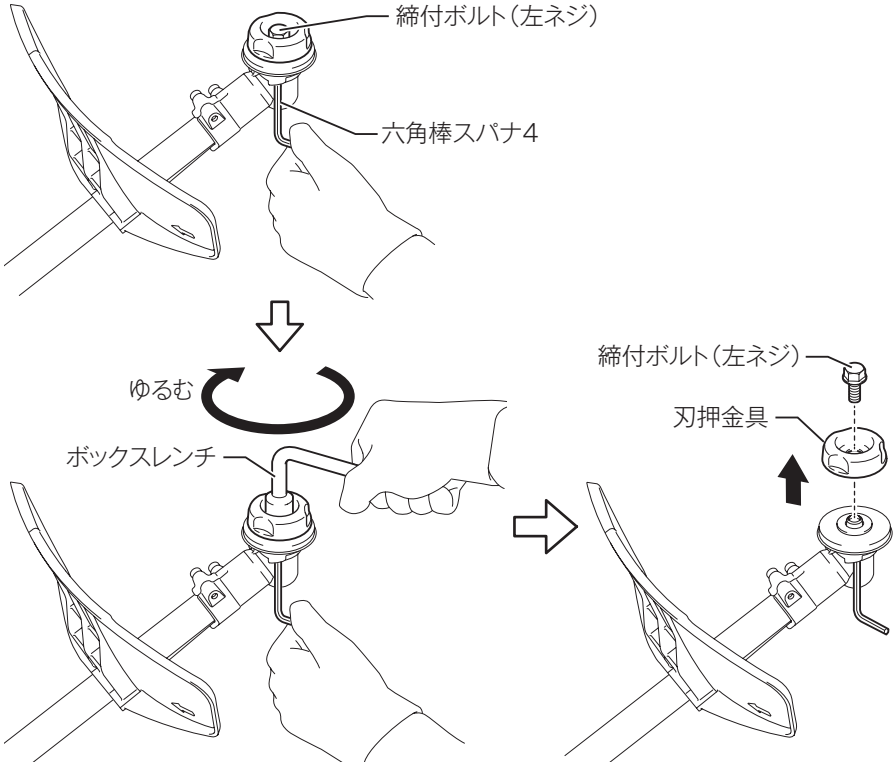


3. ギヤケースの穴に付属の六角棒スパナ 4 を挿し込み、刃受金具が回らないように固定します。

※ギヤケースの穴に土や草などがつまっている場合は細い棒などで取り除いてください。

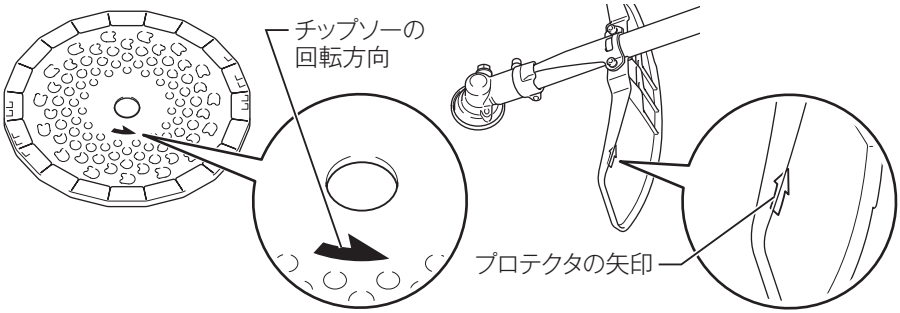


4. 締付ボルト（左ネジ）を付属のボックスレンチ／ボックスドライバで図のようにゆるむ方向へ回して、締付ボルト（左ネジ）、刃押金具をはずします。



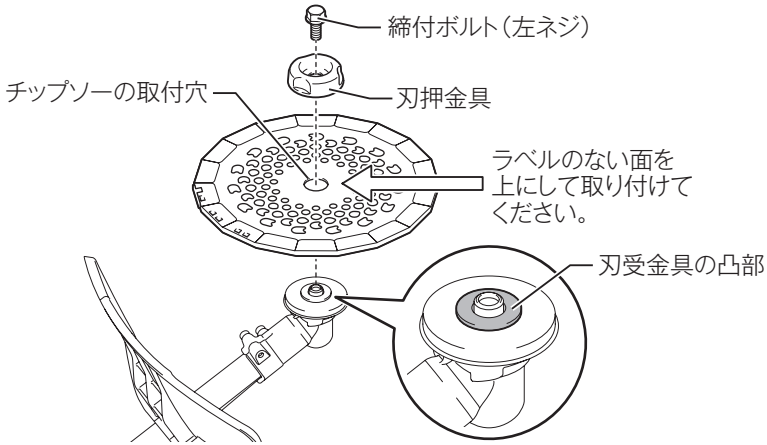
5. 本製品の回転方向とチップソーの回転方向を確認します。

・本製品の回転方向とチップソーの回転方向を合わせるため、本製品の回転方向はプロテクタの矢印を、チップソーの回転方向はチップソーの矢印を確認します。

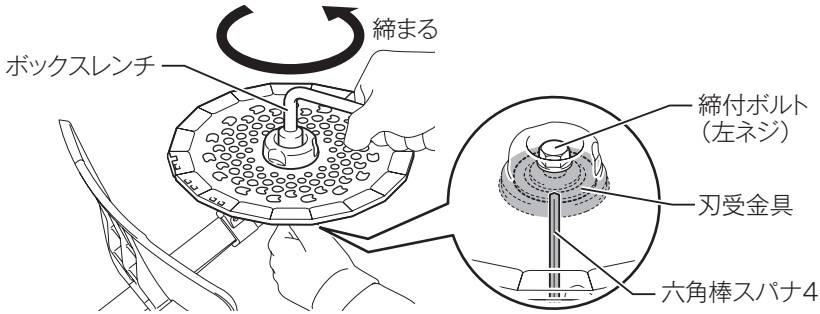


6. 刃受金具の凸部とチップソーの取付穴を合わせ、チップソー→刃押金具→締付ボルト（左ネジ）の順に取り付けます。

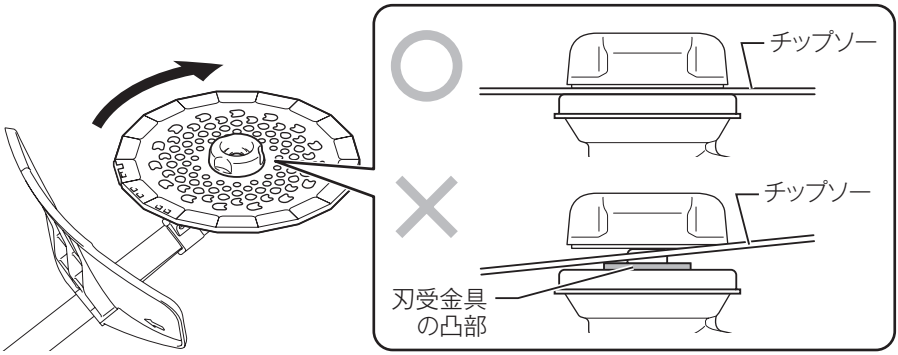
・チップソーの取り付けは、ラベルのない面を上にして取り付けます。



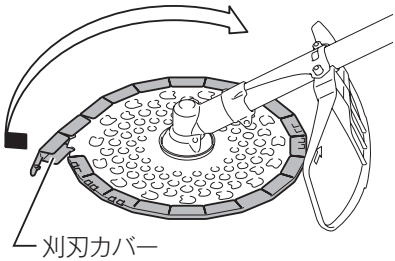
7. 付属の六角棒スパナ４で刃受金具を回らないように固定してから、締付ボルト（左ネジ）を付属のボックスレンチ／ボックスドライバで図のように締まる方向へ回して締め付けます。



8. 付属の六角棒スパナ４をはずし、チップソーを手で軽く回してチップソーの取付穴が刃受金具の凸部からずれていないことを確認します。ずれている場合は、もう一度チップソーを取り付け直してください。



9. 刈払作業を行うときは刈刃カバーを取りはずします。



■ 取りはずし方

・ チップソーを取りはずすときは、取り付け方と逆の手順で行います。

ナイロンコードカッタ（別販売品）／樹脂刃（別販売品）の取り付け方／取りはずし方

⚠ 警告

ナイロンコードカッタや樹脂刃とプロテクタは正しい組み合わせで使用してください。

・ 当社指定ナイロンコードカッタ・樹脂刃専用のプロテクタ（A-75736）を取り付けてご使用ください。当社指定以外のナイロンコードカッタ・樹脂刃用プロテクタを取り付けた場合、飛散物によるけがや本製品故障の原因になります。

プロテクタをはずした状態で使用しないでください。

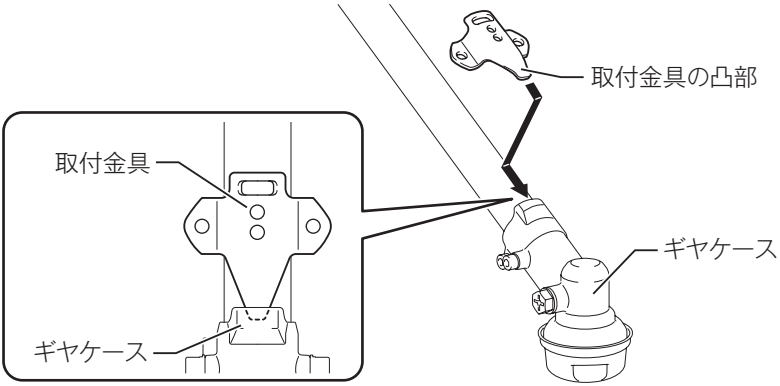
・ 事故やけがの恐れがあります。

プロテクタは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。

・ プロテクタを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けないで使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。

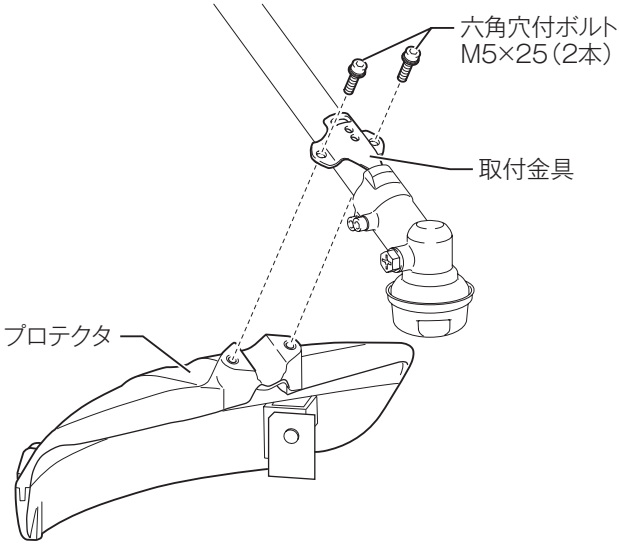
■ ナイロンコードカッタ／樹脂刃用プロテクタ（別販売品）の取り付け方

1. 取付金具の凸部を図のようにギヤケース（後端）に奥まで挿し込みます。



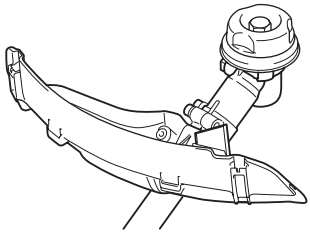
2. 取付金具にプロテクタを六角穴付ボルト M5 × 25（2 本）で取り付け、付属の六角棒スパナ 4 でしっかり締め付けます。

・2 本とも均等に締め付けてください。

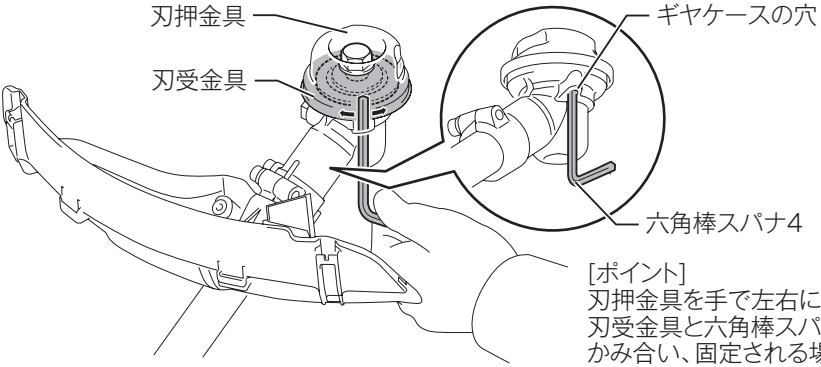


■ ナイロンコードカッタ／樹脂刃の取り付け方

1. ナイロンコードカッタ／樹脂刃を取り付けやすいように本製品を裏返します。

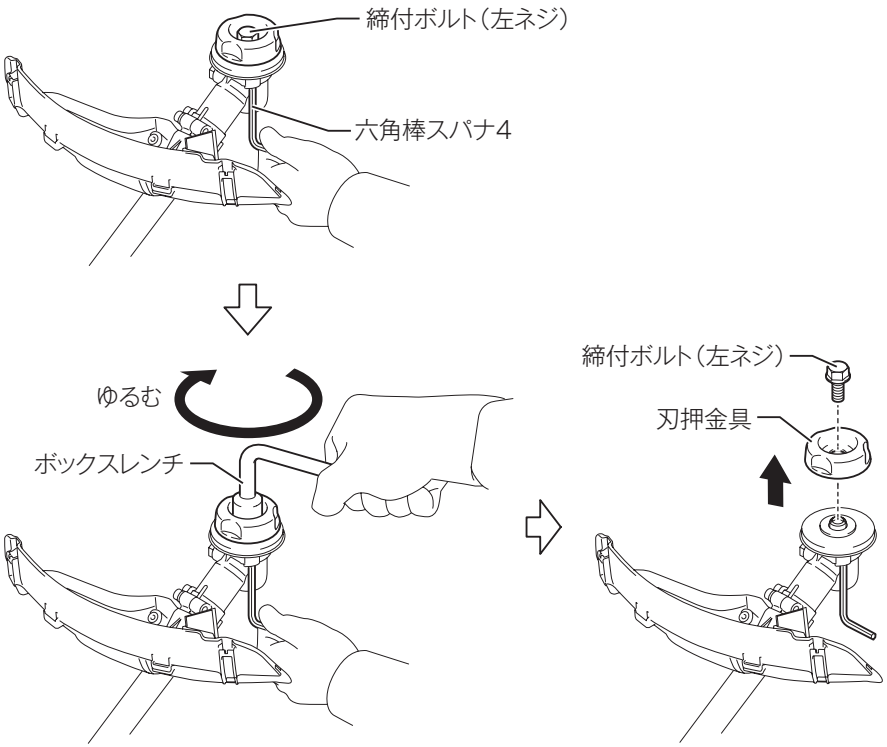


2. ギヤケースの穴に付属の六角棒スパナ 4 を挿し込み、刃受金具が回らないように固定します。

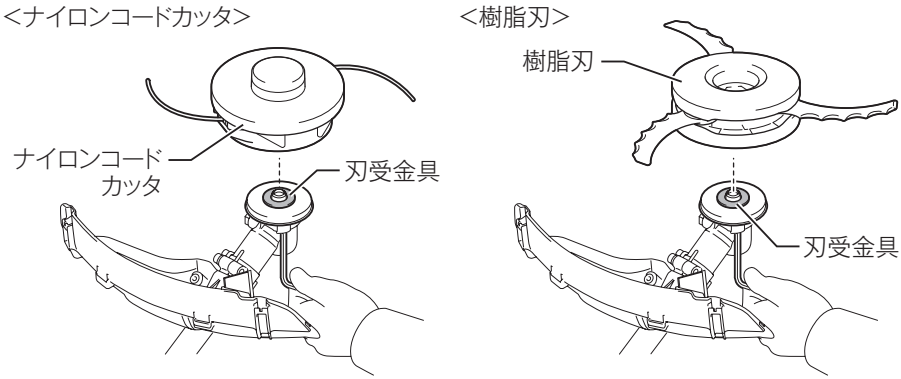


[ポイント]
刃押金具を手で左右に回すと刃受金具と六角棒スパナ4 がかみ合い、固定される場所があります。

3. 締付ボルト（左ネジ）を付属のボックスレンチ／ボックスドライバで図のように回して、締付ボルト（左ネジ）、刃押金具をはずします。



4. ナイロンコードカッタや樹脂刃を刃受金具の上に取り付けます。



注	・取り付け方は、ナイロンコードカッタや樹脂刃の種類によって異なります。それぞれのアクセサリに付属の取扱説明書をご覧ください。

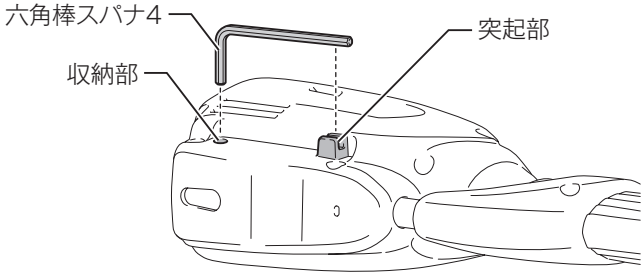
■ ナイロンコードカッタ／樹脂刃の取りはずし方

・ ナイロンコードカッタ／樹脂刃を取りはずすときは、取り付け方と逆の手順で行います。

六角棒スパナ 4 の収納

使用後の付属の六角棒スパナ 4 は、本製品の収納部に取り付けます。

・ 六角棒スパナ 4 は本製品の突起部に確実にはめてください。



バッテリの取り付け／取りはずし方法

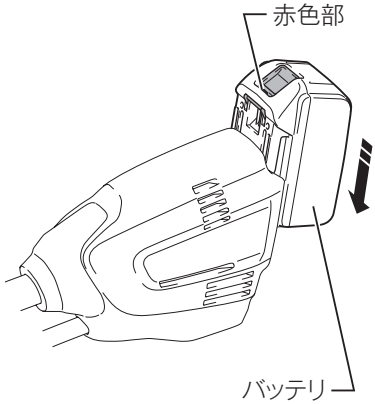
⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。
・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

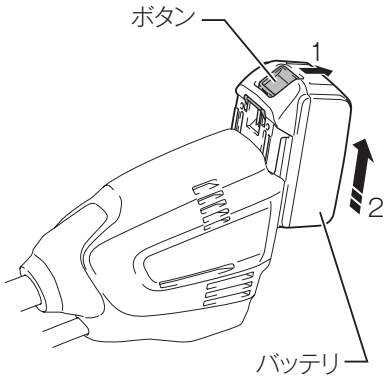
■ 取り付け方

・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



■ 取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。



本製品の操作

肩掛けバンドの取り付け方／取りはずし方（MUR196UD ／ MUR196LD ／ MUR196WD）

⚠ 警告

肩掛けバンドを確実に取り付けてから使用してください。

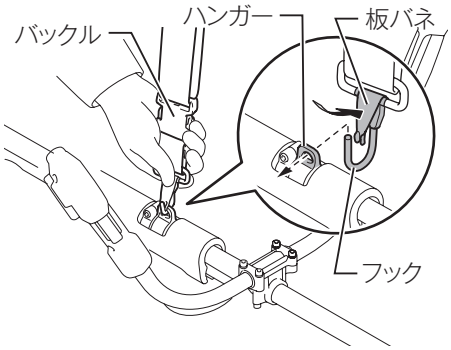
必ず肩掛けバンドを着用してください。
・ 肩掛けバンドを取りはずして作業するとけがの原因になります。

■ 取り付け方

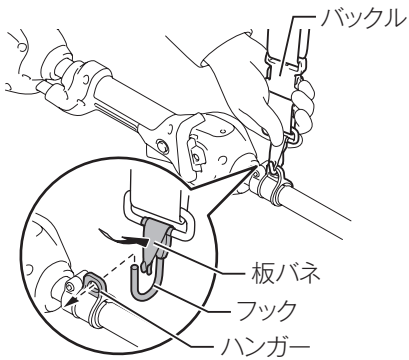
1. 左肩に肩掛けバンドを着用します。

2. 肩掛けバンドのフックを、本製品のハンガーに取り付けます。

<MUR196UD>



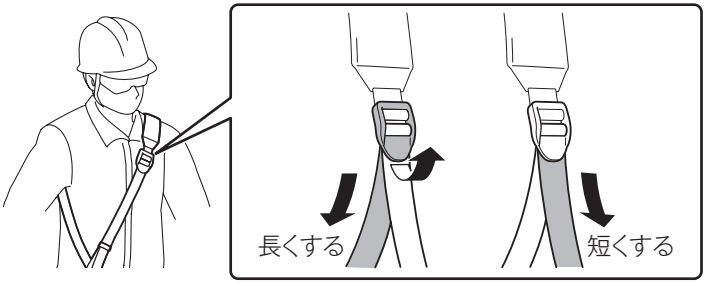
<MUR196LD/MUR196WD>



注	・ フックおよびバックルを引いて抜けないことを確認してください。

3. バンドの長さを変更して、本製品が使いやすい位置にくるように調整します。

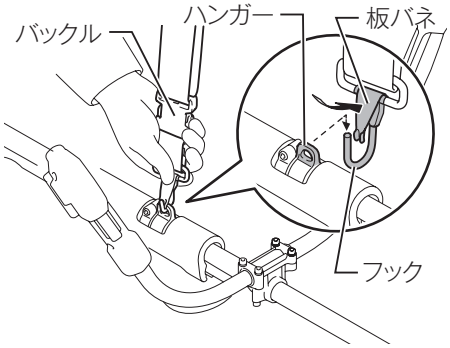
※必要に応じてハンガー位置を調整してください（80 ページ参照）。



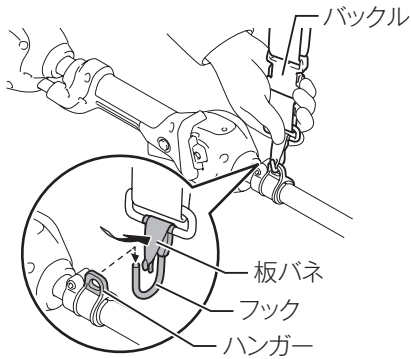
■ 取りはずし方（通常離脱）

本製品のハンガーからフックの板バネを押しながらはずします。

<MUR196UD>



<MUR196LD/MUR196WD>



■ 取りはずし方（緊急離脱）

⚠ 警告

緊急時に離脱する際は、本製品の保持に細心の注意を払ってください。

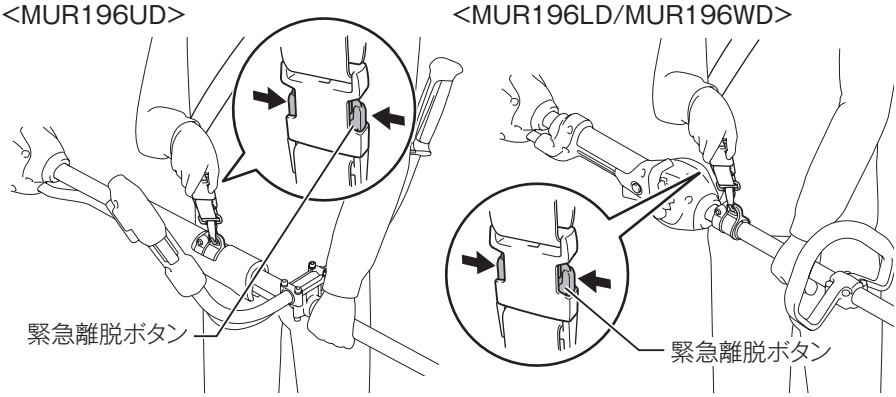
本製品のコントロールを失うと、作業者自身または第三者が死亡あるいは重傷を負う可能性があります。

離脱ボタンを使って草刈機を離脱する場合は、必ず手で本製品を支えながらボタンを操作してください。本製品を支えずに離脱すると草刈機が落下します。

・ 緊急時、緊急離脱ボタンを両側から押すと、本製品を身体から離脱できます。

1. 左手で本製品を保持したまま、右手でバックルの緊急離脱ボタンを両側から押します。

2. バックルがはずれ、本製品を肩掛けバンドから、離脱することができます。



※イラストはMUR196LD

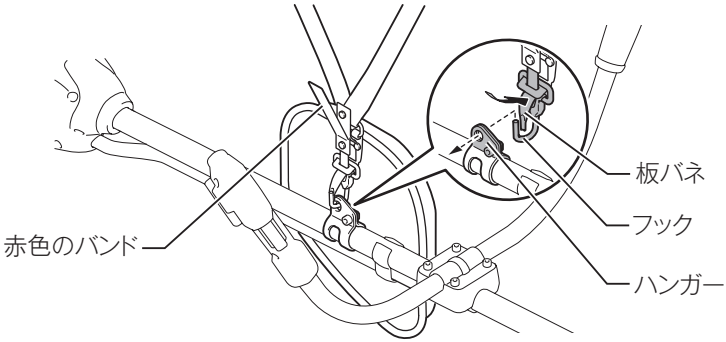
肩掛けバンドの取り付け方／取りはずし方（MUR196SD）

■ 取り付け方

1. 左肩に肩掛けバンドを着用します。

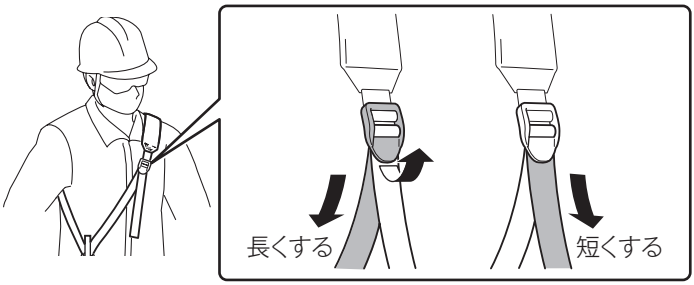
2. 肩掛けバンドのフックを、本製品のハンガーに取り付けます。

・赤色のバンドが外側になるように取り付けます。



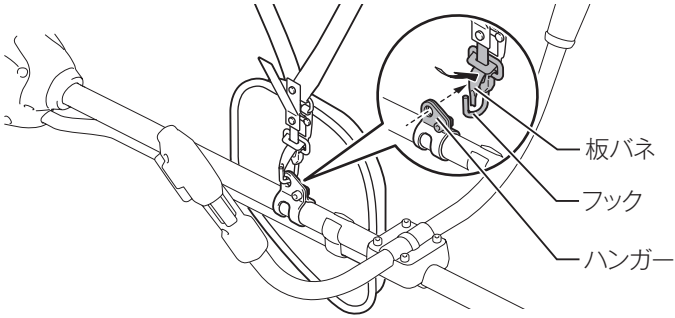
注	・フックを引いて抜けないことを確認してください。

3. 本製品が使いやすい位置にくるようにバンドの長さを調整します。
※必要に応じてハンガー位置を調整してください（81 ページ参照）。



■ 取りはずし方（通常離脱）

本製品のハンガーからフックの板バネを押しながらはずします。



■ 取りはずし方（緊急離脱）

⚠ 警告

緊急時に離脱する際は、本製品の保持に細心の注意を払ってください。

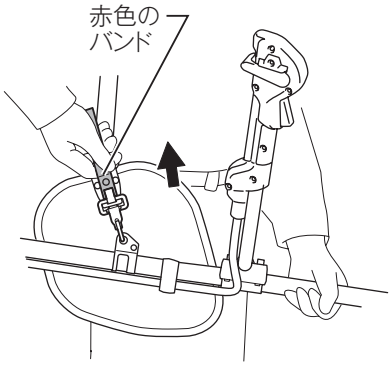
本製品のコントロールを失うと、作業者自身または第三者が死亡あるいは重傷を負う可能性があります。

赤色のバンドを使って草刈機を離脱する場合は、必ず手で本製品を支えながら赤色のバンドを操作してください。本製品を支えずに離脱すると草刈機が落下します。

・ 緊急時、赤色のバンドを上に引くと、本製品は肩掛けバンドと切り離され、本製品を身体から離脱できます。

1. 左手で本製品を保持したまま、右手で赤色のバンドを上に引きます。

2. 本製品が肩掛けバンドから切り離され、離脱することができます。



本製品の持ち方

⚠ 警告

本製品は身体の右側に吊し、両手でハンドルまたはグリップを保持してください。

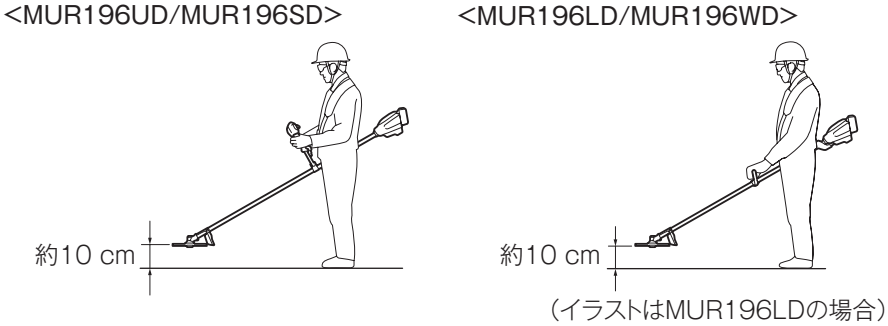
刈刃が身体に接触しないように注意してください。

本製品の操作は慎重に行ってください。
・けがや事故の原因になります。

・肩掛けバンドを装着し、両手でハンドルまたはグリップを保持します。

バランス調整方法

・ 肩掛けバンドのストラップの長さ調整と、吊り下げ位置を変更して、バランスを調整してください。刈刃が地面から約 10 cm の高さで水平になる程度が目安です。



⚠ 注意

正しい付属品や別販売品を使用してください。

・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外の物を使用すると、本製品のバランス調整が十分に行えず、事故の原因となります。

ハンガー位置の調整

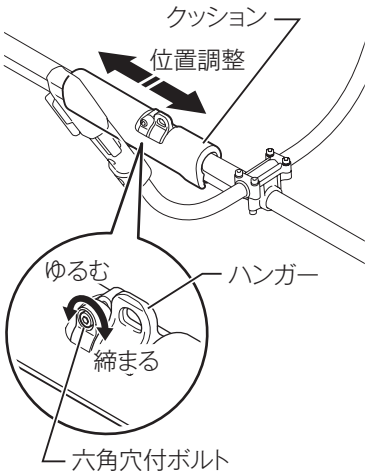
■ MUR196UD

1. ハンガーを固定している六角穴付ボルトを、付属の六角棒スパナ 4 でゆるめます。

2. クッションを前後に動かして吊り下げ位置を調整します。

・ クッションはねじりながら動かすとスムーズに調整できます。

3. 調整後、六角穴付ボルトを付属の六角棒スパナ 4 でしっかり締め付けます。

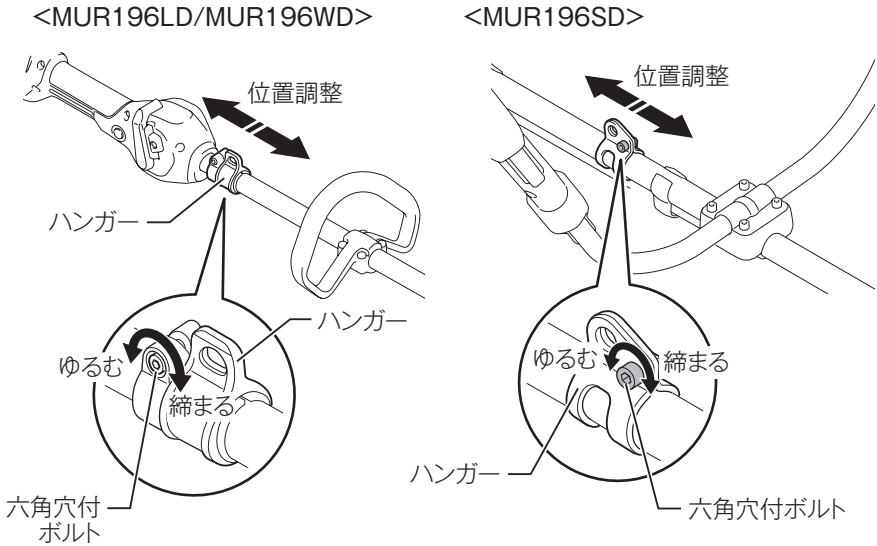


■ MUR196LD/MUR196WD/MUR196SD

1. ハンガーを固定している六角穴付ボルトを、付属の六角棒スパナ 4 でゆるめます。

2. ハンガーを前後に動かして吊り下げ位置を調整します。

3. 調整後、六角穴付ボルトを付属の六角棒スパナ 4 でしっかり締め付けます。



※イラストはMUR196LD

スイッチの操作

⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

持ち運ぶときは、スイッチレバーやロックオフボタンに指をかけないでください。
・ 不意にスイッチが入り、事故の原因になります。

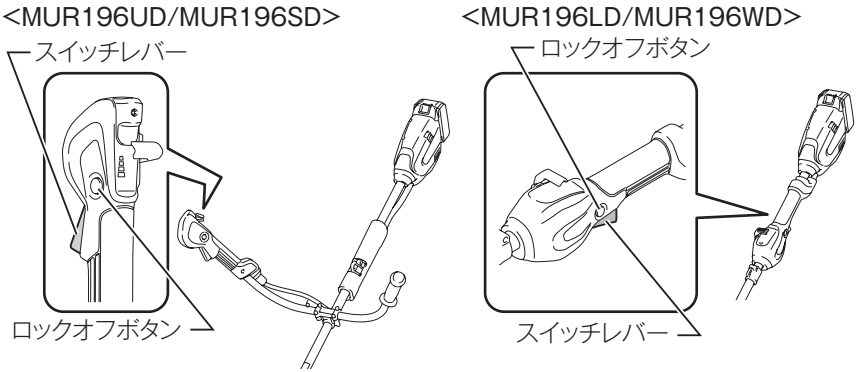
スイッチレバー、ロックオフボタンに異常がないか点検してください。もし異常がある場合は使用せず、修理をお申し付けください。
・ スイッチレバーを操作しても始動および停止ができない場合は異常です。
・ 本製品はロックオフボタンを押すことでスイッチレバーを引ける状態になりますが、ロックオフボタンを押していない状態で、スイッチレバーを引ける場合は異常です。

ロックオフボタンをテープなどで固定するような使い方をしないでください。
・ 事故の原因になります。

⚠ 注意

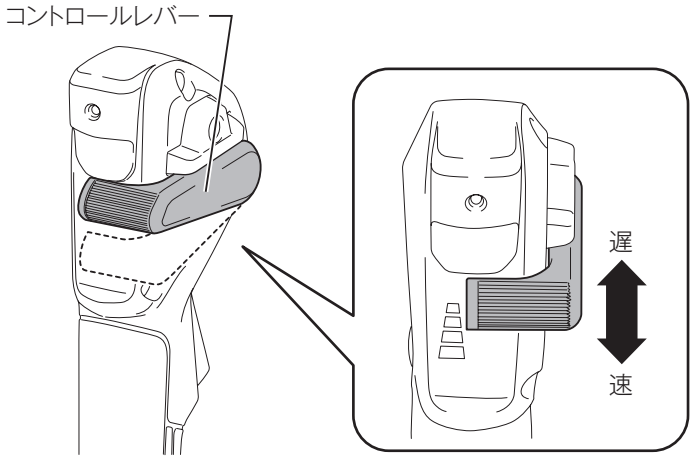
ロックオフボタンを押していない状態で、スイッチレバーを無理に引かないでください。
・ 故障の原因になります。

・ ロックオフボタンを押した状態でスイッチレバーを引くとスイッチが入り（ON）、放すと切れます（OFF）。
・ MUR196LD/MUR196WD のロックオフボタンは左右どちら側からも押すことができます。
・ スイッチレバーを放すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。



回転数の調整

・ コントロールレバーで回転速度を調整します。
　・ コントロールレバーを上に動かすと速度が遅くなり、下に動かすと速度が速くなります。



刈払作業

⚠ 警告

足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。またハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
・ 転倒してけがの原因になります。

使用中は危険防止のため、半径 15 m 以内に人や動物を近づけないでください。小石、針金、空きカン、空きビンなどの障害物は取り除いてから使用してください。
・ 使用中に刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、本製品の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故の原因になります。

チップソー（刈刃）に雑草などがからみついたときは、必ずスイッチを切った後、バッテリを本製品から抜きチップソー（刈刃）の回転が停止したことを確認してから取り除いてください。
・ チップソー（刈刃）が回ったままではけがの原因になります。

悪天候時は作業しないでください。
・ 落雷する恐れがあります。

本製品は身体の右側に吊し、両手でハンドルまたはグリップを保持してください。

刈刃が身体に接触しないように注意してください。

■ チップソー（刈刃）の使用方法

⚠ 注意

チップソー（刈刃）で打つ、叩くなどの方法で刈払作業をしないでください。
・ 跳ね返りやチップソー（刈刃）が破損し事故の原因になります。

1. 肩掛けバンドを装着し、本製品を身体の右側に吊ります。

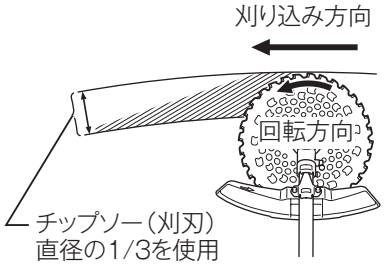
2. 両手でハンドルを保持し、両足に平均に体重がかかるように開きます。

3. チップソー（刈刃）を地面から浮かし、刈払作業に合った適切な回転数にします。

※チップソー（刈刃）の回転が低すぎますと、雑草がチップソー（刈刃）にからみつくことがありますので注意してください。

・本製品は、身体の周りを右から左へ回すようにしながら前進し、雑草を刈ってください。このときチップソー（刈刃）を左側へ少し傾けますと、刈った雑草が左側に寄り能率的に作業が行えます。

・刈り残しをなくすために、チップソー（刈刃）の先端から 1/3 の範囲で刈ってください。

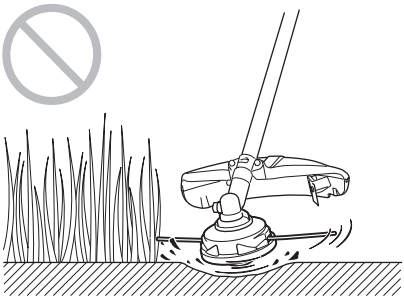


・雑草が高く繁っているときは、まず雑草を高く刈って障害物がよく見えるようにしてからもう一度刈り取ってください。

■ ナイロンコードカッタ（別販売品）の使用方法

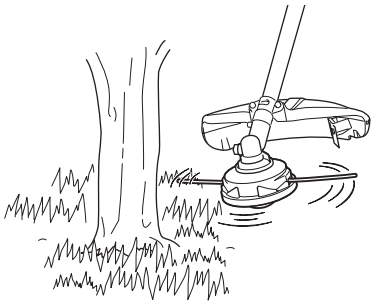
・ 本製品を傾けて保持し、ナイロンコードの先端を右から左へ回すように前進し、雑草を上から数回に分けて刈ってください。

注	・ 一度に草の根元から刈ると、草がからみついてモータに過剰な負担がかかり、故障の原因となります。 ・ 草の密集した中に本製品を押し付けないでください。 ・ 地面を掘りかえすような使い方はしないでください。



■ 樹木やブロック、レンガ、庭石周りの草の刈り方

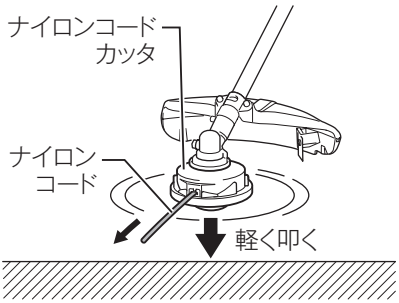
・ ナイロンコードが地面に接触しない高さで本製品を傾けて保持し、周辺の草を刈ります。
・ ナイロンコードが樹木やブロックなどに接触すると、ナイロンコードが切れたり、減り方が早くなり、ナイロンコードのこまめな送り出しが必要になります。



注	・ナイロンコードの先端で草を刈るようにすると最も効率良く作業できるため、樹木やブロックなどから本製品を 5 cm 以上離して使用することをおすすめします。 ・本製品を樹木やブロックなどに近づけすぎると、ナイロンコードがナイロンコードカッタ内で切れてしまうことがあります。この場合は、ナイロンコードカッタを取りはずし、ナイロンコードをセットし直してください。セット方法については、ナイロンコードカッタ（別販売品）の取扱説明書をご参照ください。

■ ナイロンコードの送り出しについて

・ ナイロンコードカッタが地面に平行になるように本製品を保持して、モータが回転中にナイロンコードカッタで軽く地面を叩くと、ナイロンコードが約 3 ～ 3.5 cm 送り出されます。送り出されたナイロンコードは、プロテクタに付いているカッタによって適切な長さにカットされます。



注	・モータの回転が低い状態で、ナイロンコードカッタで地面を叩いてもナイロンコードが送り出されない場合があります。モータ回転を上げてからナイロンコードカッタで地面を叩き、ナイロンコードを送り出してください。 ・ナイロンコードカッタはコンクリートやアスファルトの上で叩かないでください。ナイロンコードカッタを傷める原因になります。 ・ナイロンコードカッタで軽く地面を叩いても、ナイロンコードが送り出されない場合は、ナイロンコードを交換してください。

使用後の取り扱い

⚠ 警告

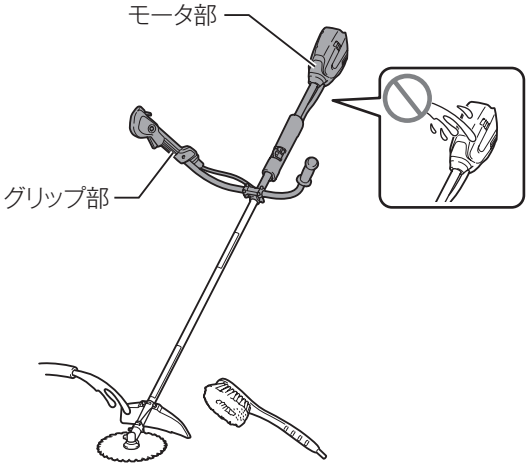
点検、整備の際には必ずスイッチを切り、本製品からバッテリを抜いてください。
・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

本製品のお手入れ

・ 使用後は、通気口のホコリやゴミなどを取り除き、乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。
・ 草や泥汚れなどが付着したときは、水洗いで汚れを落として乾いたタオルで拭いてください。

⚠ 注意

水洗いするときは、本製品のモータ部、グリップ部には水をかけないでください。
・ 故障の原因になります。



注	**・ 高圧洗浄機による水洗いは絶対にしないでください。** ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。 **・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

本製品の保管

・ 保管する際は、本製品からバッテリを取りはずして保管してください。
次の場所には保管しないでください。
×子供の手が届いたり、持ち出せる所
×直射日光の当たる所
×軒先など雨がかかったり、湿気のある所

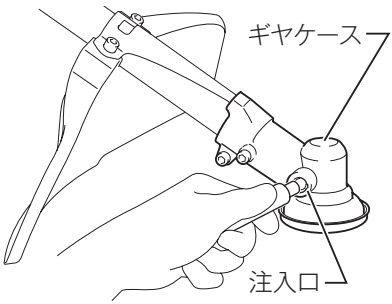
⚠ 警告

保守、点検の際には必ずスイッチを切り、本製品からバッテリを抜いてください。
・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

保守

ギヤケースへのグリスの補給

・ 約 30 時間の作業ごとに、指定のグリスをギヤケースの注入口から補給してください。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 60 ページ参照。

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理をお申し付けの際は、本製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

メモ

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881L45-7
CRE